

三重大学

# 学生総合支援 センター

Mie University Center  
for Student Support

2019年度  
報告書



# 目次

## I 学生総合支援センター

- ・組織図 ..... 01
- ・学生総合支援センター会議 委員名簿 ..... 02
- ・学生委員会 委員名簿 ..... 02

## II 学生生活支援室

- ・活動報告 ..... 03
- ・奨学生数 ..... 05
- ・学部別外国人留学生数 ..... 06
- ・国籍別外国人留学生数 ..... 07
- ・入学料免除者数 ..... 08
- ・授業料免除者数 ..... 09
- ・学生寄宿舎入寮許可状況 ..... 10
- ・学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険加入者数 ..... 11
- ・第68回東海地区国立大学体育大会成績結果 ..... 12
- ・クラブ・サークル一覧(体育系・文化系) ..... 13

## III 障がい学生支援室

- ・活動報告 ..... 15
- ・三重大学障がい学生支援セミナー2019 実施報告 ..... 17

## IV 学生なんでも相談室

- ・活動報告 ..... 21
- ・学生なんでも相談室ニュース ..... 23

## V キャリア支援センター

- ・活動報告 ..... 25
- ・就職状況 ..... 30

## VI SA(スチューデント・アシスタント)

- ・取り組みを振り返って ..... 32
- ・キャリア・ピアサポーター資格取得ガイド ..... 33

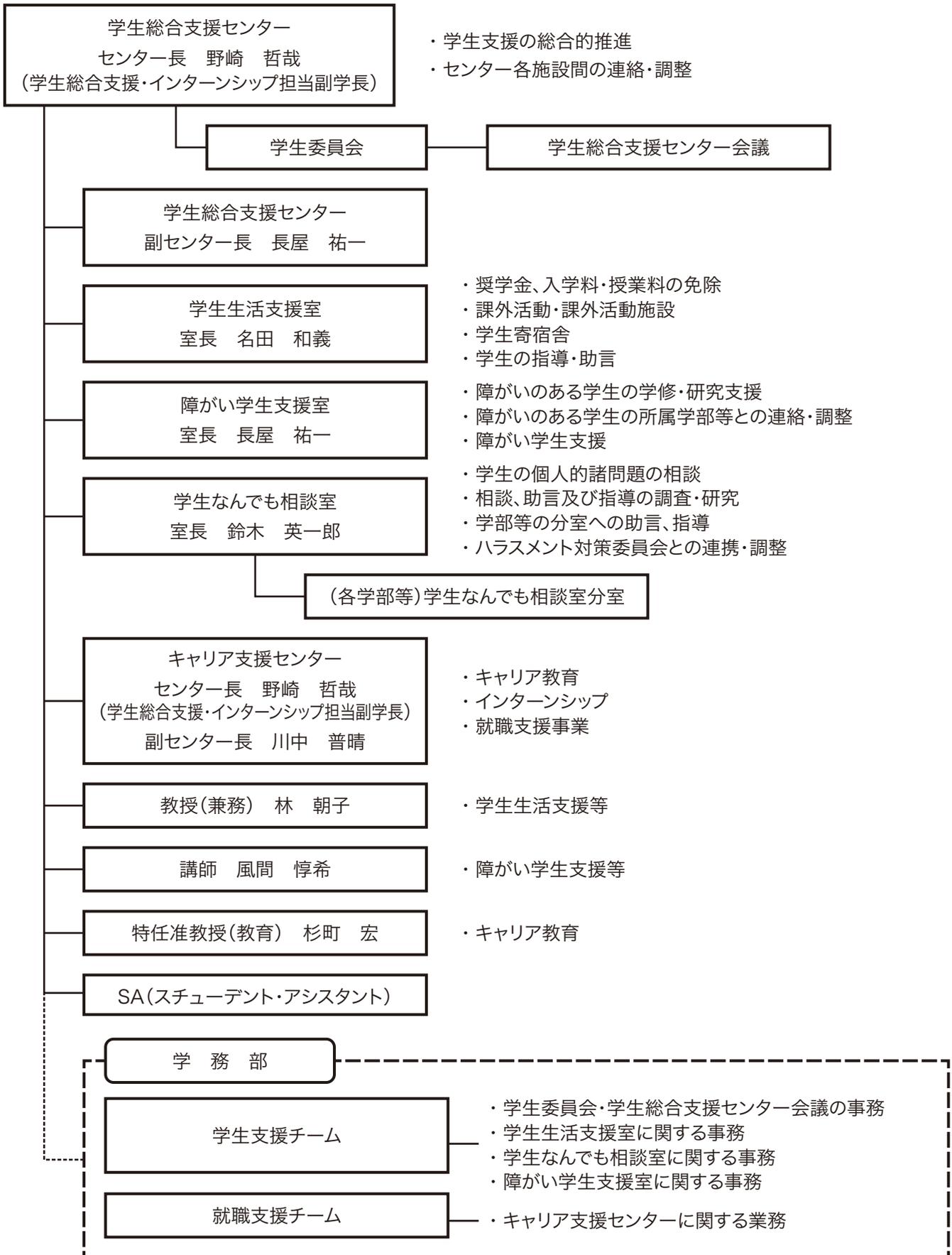
## VII 学生総合支援センター主催行事

- ・学生支援サミット2019 ..... 37
- ・アカデミックフェア2019 ..... 42



# 学生総合支援センター

## 2019年度 学生総合支援センター 組織図



## 2019年度 学生総合支援センター会議 委員名簿

		氏 名	備 考
委員	学生総合支援センター長	野崎 哲哉	議長 学生総合支援・インターンシップ担当 副学長
	キャリア支援センター長		
	学生総合支援センター副センター長	長屋 祐一	
	障がい学生支援室長		
	学生生活支援室長	名田 和義	
	学生なんでも相談室長	鈴木 英一郎	
	キャリア支援センター副センター長	川中 普晴	
	障がい学生支援室 講師	風間 惇希	
	学務部長	室屋 守男	
	教授	林 朝子	教育学部
	教授	西村 有平	医学部
陪席	学生支援課長	草川 弥生	
	学生支援チーム副課長	田中 正明	
	就職支援課長	富島 嘉夫	
	就職支援チーム副課長	吉田 幸乃	

## 2019年度 学生委員会 委員名簿

		氏 名	備 考
委員	学生総合支援センター長	野崎 哲哉	委員長 学生総合支援・インターンシップ担当 副学長
	キャリア支援センター長		
	学生総合支援センター副センター長	長屋 祐一	副委員長
	障がい学生支援室長		
	学生生活支援室長	名田 和義	
	学生なんでも相談室長	鈴木 英一郎	
	キャリア支援センター副センター長	川中 普晴	
	保健管理センター所長	富本 秀和	
	国際交流センター	松岡 知津子	
	人文学部	内野 広大	
	教育学部	宮岡 邦任	
	医学部	片岡 三佳	
	工学研究科	鈴木 秀智	
	生物資源学研究科	取出 伸夫	
	学務部長	室屋 守男	
陪席	学生支援課長	草川 弥生	
	学生支援チーム副課長	田中 正明	
	就職支援課長	富島 嘉夫	
	就職支援チーム副課長	吉田 幸乃	



# II 学生生活支援室

## 2019年度 活動報告

### 1 全学オリエンテーションの開催

新入生を対象とした学生総合支援センターオリエンテーションを開催し、野崎哲哉学生総合支援センター長からの挨拶の後、鈴木英一郎学生なんでも相談室長、風間惇希教員及びピアサポーター学生により、寸劇形式にて学生生活支援室、障がい学生支援室、学生なんでも相談室、キャリア支援センターの利用方法の説明があり、修学基盤を総合的に支援することを周知した。津警察生活安全課による交通マナーの遵守、未成年飲酒防止および違法薬物の乱用防止などの指導、大学防災室による地震・津波等大規模災害時の対応方法など、これから始まる新しい生活を送るうえで、起こり得る様々な危険を回避するための講話やピアサポーター学生委員会学生から活動内容の紹介を行った。

### 2 学生を支援・担当する教職員を対象とした研修会

日本学生支援機構主催の奨学金に関する説明会や学生が抱える様々な悩みや相談に対応する教職員を対象とした学生支援研修会や、スチューデントコンサルタント資格の取得のための研修講座に、教職員を積極的に派遣した。

### 3 学生向け出張労働相談会の開催

学生の本分である学業とアルバイトをめぐる労働条件確保にかかる様々な問題が増加傾向にあることから、三重労働局雇用環境・均等室の協力を得て、出張労働相談会を6月に開催した。

### 4 上浜キャンパス自転車登録制の実施

学内外での自転車マナー向上を目指し、上浜キャンパスに乗り入れる学生の自転車に登録シールを貼付する自転車乗り入れ登録制を引き続き実施した。また、学内における自転車の登録状況の調査を実施した。(2020.2月 自転車登録台数6,377台)

### 5 交通マナー等の向上

近隣商業施設への無断駐車・無断駐輪や、歩行者・自転車の通学マナーなどの問題については、これまで同様、国道23号線江戸橋交差点付近での交通安全指導や定期的な巡回指導、津警察と連携した交通安全指導等を実施し、注意喚起を行った。交通安全指導は、前期4月10日(水)～4月19日(金)、後期10月7日(月)～10月11日(金)に実施し、学生総合支援センター教員やピアサポーター学生委員会の学生を中心とした多くの学生ボランティアが参加し、学生・教職員協働による取組として一定の効果を上げることができた。また、環境ISO学生委員会と共同で学内の放置自転車を回収し、処分した。(2020.3月 放置自転車台数275台)

### 6 未成年の飲酒防止、学生の飲酒事故防止に係る指導

未成年飲酒防止の周知徹底や学生の飲酒事故防止のため、新入生には、新入生オリエンテーションにおいて、在学生には、特に新入生を迎える4・5月、夏季・冬季休業前などに、注意喚起を実施した。また、学生考案の未成年飲酒の防止やアルコール・ハラスメント防止の啓発シールを作成し、クラブ・サークル連絡会や各学部等に広く配布し、未成年の飲酒防止、学生の飲酒事故防止の指導を依頼した。

## 7 クラブ・サークル活動関係

毎月クラブ・サークル連絡会を定例開催し、各種注意喚起、連絡を行った。

また、2月12日にクラブ・サークルリーダー研修会を開催し、課外活動代表者の育成を図った。

音楽系クラブ・サークルが4月から1月までの授業期間中の毎週水曜日の昼食時に翠陵会館大集会室で「ミニライブ」を22回開催した。

9月7日(土)・8日(日)の両日、本学近隣の栗真地区社会福祉協議会が主催した敬老のつどいが4カ所の会場で開催され、本学課外活動団体の邦楽部、アンビシャスカード、ギターマンドリンクラブ、フラメンコサークルOLE!、音楽サークルBbがそれぞれの会場に分担して出演した。

ヨット部が、令和元年度春季・秋季開催の中部学生ヨット選手権大会スナイプクラスで優勝するなど、輝かしい成績を収め、個人・団体共に全国大会へ出場したことが評価され、理事表彰を受けた。

## 8 課外活動施設の改善及び備品等購入助成

* 熱中症対策	製氷機修理
* 第1体育館	柔道場窓ガラス交換
* 第2体育館	壁掛時計修理、クレセント錠修繕
* 屋内運動場	窓ガラス交換
* 野球場	飛球シミュレーション実施、漏電ブレーカー取替
* テニスコート	人工芝修繕、支柱部品取替
* 弓道場	弓道場LED器具庫照明器具交換
* プール	ろ過機修繕、プールテント修繕、鳩糞害対策工事
* 男子合宿所	室外機修理、トイレ小便器修理
* 翠陵会館	大集会室放送設備、プロジェクター設置、室外機修理
* ヨット関係	救助艇船定期検査塗装、ヨットセール

## 9 学生の活動支援

本学の学生へ依頼のあった学生の地方行政団体行事への参画などの活動やボランティア活動の支援を行った。また、課外活動を行っている学生に、ボランティア活動の状況調査を実施した。

## 三重大学概要 奨学生数

2020年4月現在

学部等		区分	在学生数	日本学生支援機構				地方公共団体 民間育英団体	入学特別 奨学金	合計	在学生に 対する 百分率
				給付	第一種 (無利子)	第二種 (有利子)	計				
学部	人文学部		1,179	14	195	103	312	3	1	316	26.8%
	教育学部		848	11	130	99	240	10	1	251	29.6%
	医学部		1,094	8	119	130	257	309	1	567	51.8%
	工学部		1,800	9	273	216	498	16	2	516	28.7%
	生物資源学部		1,107	10	153	113	276	6	1	283	25.6%
大学院	人文社会科学研究科		33		3	1	4	0	0	4	12.1%
	教育学研究科	修士	59		9	1	10	1	0	11	18.6%
		専門	29		1	0	1	0	0	1	3.4%
	医学系研究科	修士	21		5	1	6	0	0	6	28.6%
		前期	19		1	1	2	0	0	2	10.5%
		後期	13		0	0	0	0	0	0	0.0%
		博士	191		4	1	5	0	0	5	2.6%
	工学研究科	前期	446		176	1	177	5	4	186	41.7%
		後期	41		7	1	8	0	0	8	19.5%
	生物資源学 研究科	前期	164		49	2	51	2	0	53	32.3%
		後期	43		5	1	6	0	0	6	14.0%
	地域イノベーション学 研究科	前期	30		4	1	5	0	0	5	16.7%
		後期	22		1	0	1	0	0	1	4.5%
計			7,139	52	1,135	672	1,859	352	10	2,221	31.1%

↑  
在学生数  
2019.5.1現在

## 2019年度 外国人留学生数(学部・研究科等別)

2019年11月1日現在

	学部		修士		博士		計
	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	
人文学部・人文社会科学研究科	15(6)	50(34)	13(8)	8(7)	0(0)	0(0)	86(55)
教育学部・教育学研究科	4(2)	7(5)	10(4)	0(0)	0(0)	0(0)	21(11)
医学部・医学系研究科	0(0)	2(2)	2(1)	1(1)	24(10)	0(0)	29(14)
工学部・工学研究科	25(1)	7(5)	11(5)	6(1)	8(3)	0(0)	57(15)
生物資源学部・生物資源学研究科	0(0)	9(2)	19(6)	6(3)	17(9)	2(0)	53(20)
地域イノベーション学研究科	0(0)	0(0)	3(1)	3(1)	4(2)	0(0)	10(4)
国際交流センター	0(0)	39(23)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	39(23)
計	44(9)	114(71)	58(25)	24(13)	53(24)	2(0)	295(142)

( )は、内数で女子を示す。

## 2019年度 国籍別外国人留学生数調

33ヶ国・地域 総数 295 (女子 142)

2019年11月1日現在

地域・国名		【学部】		【大学院】		【国際交流センター】	計
		正規生	非正規生	正規生	非正規生	非正規生	
アジア	中国	14(2)	41(29)	60(26)	9(7)	29(17)	153(81)
	韓国	15(6)	4(2)	0(0)	1(0)	5(3)	25(11)
	ベトナム	10(1)	6(6)	2(1)	0(0)	0(0)	18(8)
	インドネシア	0(0)	1(1)	12(5)	2(0)	0(0)	15(6)
	マレーシア	2(0)	4(3)	1(1)	0(0)	0(0)	7(4)
	タイ	0(0)	3(2)	3(3)	0(0)	1(1)	7(6)
	台湾	0(0)	1(1)	0(0)	5(3)	0(0)	6(4)
	バングラデシュ	0(0)	0(0)	4(2)	0(0)	0(0)	4(2)
	カンボジア	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	4(0)
	ラオス	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	2(0)
	ミャンマー	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	2(0)
	ネパール	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
	フィリピン	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
	スリランカ	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
アフリカ	ガーナ	0(0)	0(0)	7(2)	0(0)	0(0)	7(2)
	エジプト	0(0)	0(0)	2(1)	1(1)	0(0)	3(2)
	ザンビア	0(0)	0(0)	3(1)	0(0)	0(0)	3(1)
	モザンビーク	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	2(0)
	タンザニア	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)
	ギニア	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
	ケニア	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)
	セイシェル	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
中南米	ブラジル	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
	メキシコ	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
オセアニア	フィジー	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
	パプアニューギニア	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
	ソロモン諸島	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
	トンガ	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
	ツバル	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
ヨーロッパ	ドイツ	0(0)	8(4)	0(0)	2(0)	3(2)	13(6)
	フランス	0(0)	1(0)	0(0)	5(2)	0(0)	6(2)
	スウェーデン	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)
	英国	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
計		44(9)	75(48)	111(49)	26(13)	39(23)	295(142)
		119(57)		137(62)		39(23)	

( )は、内数で女子を示す。

正規生 155(58)

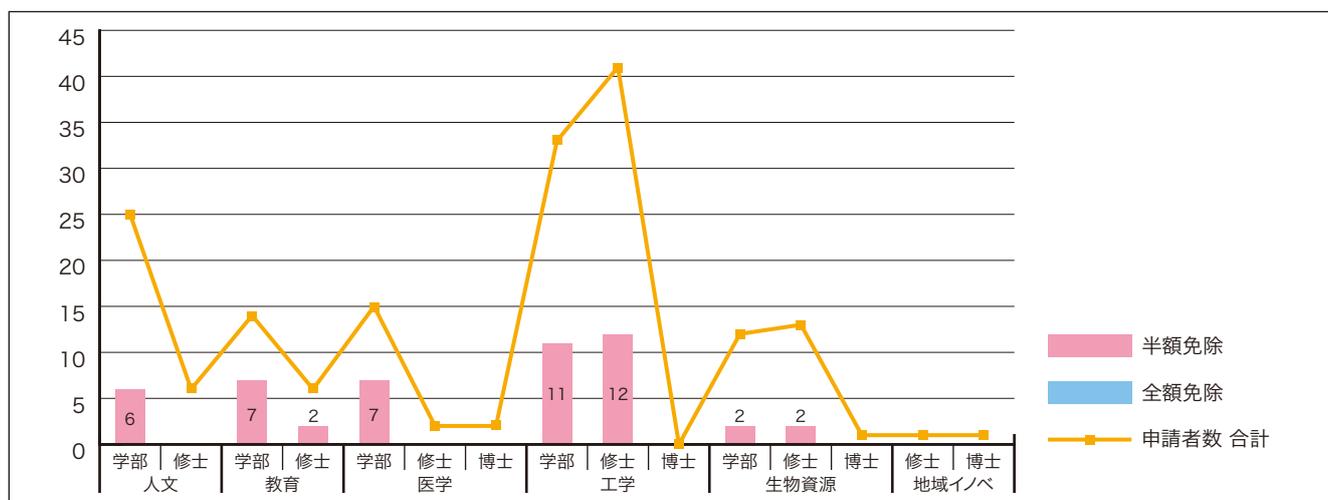
非正規生 140(84)

## 2019年度 入学料免除者数(学部・研究科別)

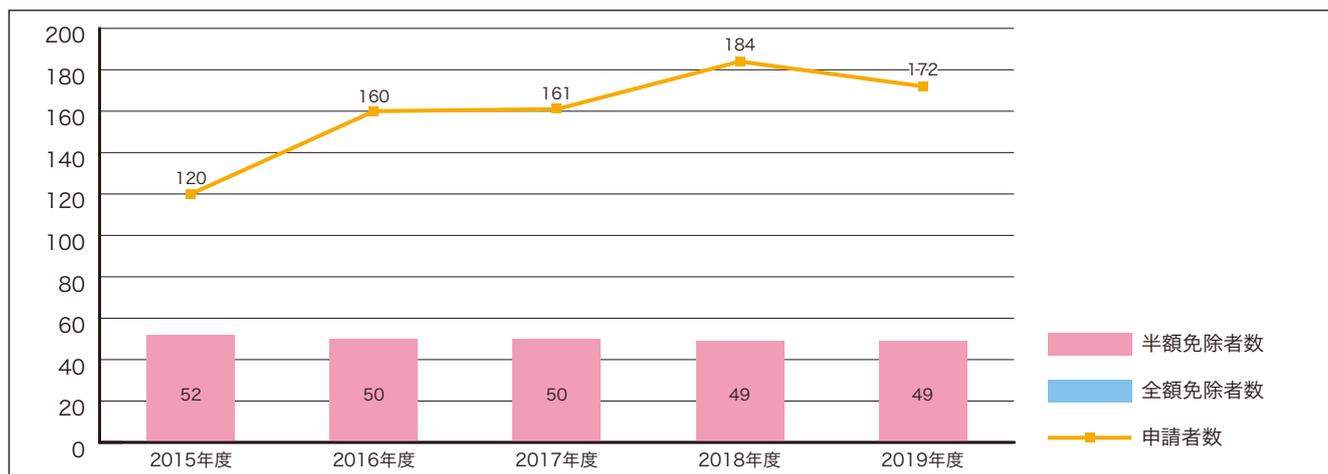
### ● 入学料免除

学部・研究科名		免除申請者数	全額免除	半額免除
人文	学部	25	0	6
	修士	6	0	0
教育	学部	14	0	7
	修士	6	0	2
医学	学部	15	0	7
	修士	2	0	0
	博士	2	0	0
工学	学部	33	0	11
	博士前期	41	0	12
	博士後期	0	0	0
生物資源	学部	12	0	2
	博士前期	13	0	2
	博士後期	1	0	0
地域イノベ	博士前期	1	0	0
	博士後期	1	0	0
合 計		172	0	49

### ● 2019年度入学料免除者数



### ● 過去5年間の三重大学における入学料免除者数(2015年～2019年)

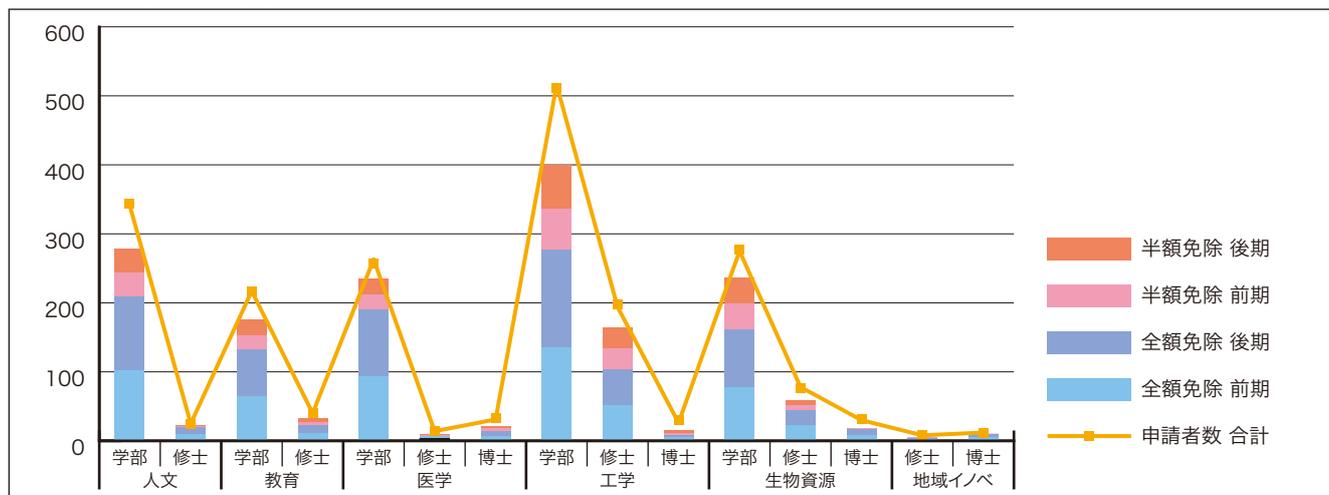


## 2019年度 授業料免除者数(学部・研究科別)

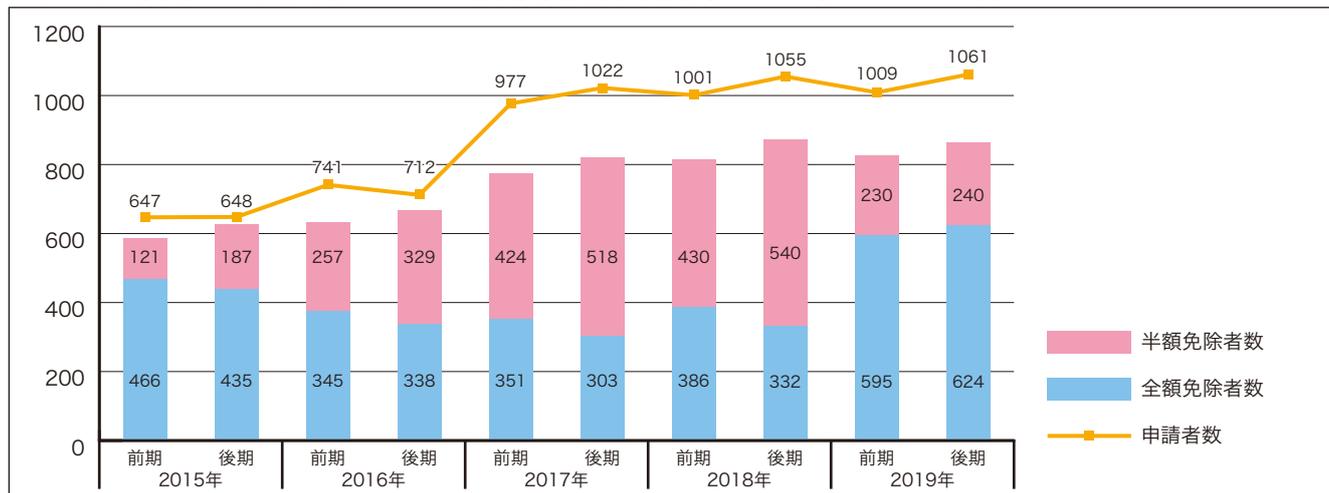
### ● 授業料免除

学部・研究科名		申請者数			全額免除		半額免除		免除者計	
		前期	後期	合計	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文	学部	168	173	341	102	107	34	35	136	142
	修士	13	12	25	10	10	1	1	11	11
教育	学部	105	112	217	64	68	21	23	85	91
	修士	21	19	40	11	11	5	5	16	16
医学	学部	129	134	263	93	98	24	25	117	123
	修士	8	6	14	3	3	2	1	5	4
	博士	15	16	31	6	8	4	4	10	12
工学	学部	244	272	516	135	142	59	64	194	206
	博士前期	95	99	194	52	52	30	30	82	82
	博士後期	14	12	26	5	3	3	4	8	7
生物資源	学部	134	141	275	77	84	38	38	115	122
	博士前期	38	40	78	22	22	7	8	29	30
	博士後期	15	15	30	8	9	1	1	9	10
地域イノベ	博士前期	4	4	8	2	2	1	1	3	3
	博士後期	6	6	12	5	5	0	0	5	5
合 計		1,009	1,061	2,070	595	624	230	240	825	864

### ● 2019年度授業料免除者数



### ● 過去5年間の三重大学における授業料免除者数(2015年～2019年)



## 入寮許可状況報告

### ●男子学生寄宿舍

定員:109名	募集人数	申請者数	許可者数	備考
2019年度	51	30	29	1名辞退

### ●女子学生寄宿舍

定員:60名	募集人数	申請者数	許可者数	備考
2019年度	39	52	39	1名辞退

### ●国際女子学生寄宿舍

定員:日本人学生50名 留学生25名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
2019年度	日本人学生	23	23	23	
	留学生	26	26	26	

### ●留学生会館

定員:35室		募集人数	申請者数	許可者数	備考
2019年度	单身室(30人)	23	21	21	
	夫婦室(5室)	3	3	3	

### ●留学生寄宿舍A棟

定員:49名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
2019年度	单身室(17人)	9	9	9	
	4人部屋(32人)	16	0	0	

### ●留学生寄宿舍B棟

定員:35名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
2019年度	单身室(35人)	24	24	24	

### ●留学生寄宿舍C・D棟

定員:85名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
2019年度	单身室(29人)※	10	10	10	
	4人部屋(56人)	29	21	21	

※C棟の留学生用单身室は9部屋。C棟には他に研究者用单身室が6部屋ある。

## 2019年度 学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険

学部・研究科	入学者数	加入者数	加入率	
人文学部	291	181	62%	
教育学部	208	129	62%	
医学部	205	198	97%	
工学部	440	378	86%	
生物資源学部	278	151	54%	
人文社会科学研究科	11	4	36%	
教育学研究科	34	27	79%	
医学系研究科	(博士課程)	38	18	47%
	(修士課程)	11	8	73%
工学研究科	(博士後期課程)	4	3	75%
	(博士前期課程)	221	147	67%
生物資源学研究科	(博士後期課程)	4	3	75%
	(博士前期課程)	80	49	61%
地域イノベーション学研究科	(博士後期課程)	5	5	100%
	(博士前期課程)	13	11	85%
合計	1,843	1,312	71%	

### 学研災付帯学生生活総合保険

2019年度

学部・研究科	入学者数	加入者数	加入率	
人文学部	291	13	4%	
教育学部	208	12	6%	
医学部	205	32	16%	
工学部	440	27	6%	
生物資源学部	278	20	7%	
人文社会科学研究科	11	0	0%	
教育学研究科	34	0	0%	
医学系研究科	(博士課程)	38	1	3%
	(修士課程)	11	0	0%
工学研究科	(博士後期課程)	4	0	0%
	(博士前期課程)	221	10	5%
生物資源学研究科	(博士後期課程)	4	0	0%
	(博士前期課程)	80	2	3%
地域イノベーション学研究科	(博士後期課程)	5	0	0%
	(博士前期課程)	13	0	0%
合計	1,843	117	6%	

### 大学生協の学生総合共済

2019年度

学部・研究科	入学者数	加入者数	加入率	
人文学部	291	211	73%	
教育学部	208	172	83%	
医学部	205	167	81%	
工学部	440	348	79%	
生物資源学部	278	221	79%	
人文社会科学研究科	11	0	0%	
教育学研究科	34	12	35%	
医学系研究科	(博士課程)	38	4	11%
	(修士課程)	11	1	9%
工学研究科	(博士後期課程)	4	2	50%
	(博士前期課程)	221	158	71%
生物資源学研究科	(博士後期課程)	4	7	175%
	(博士前期課程)	80	61	76%
地域イノベーション学研究科	(博士後期課程)	5	0	0%
	(博士前期課程)	13	0	0%
合計	1,843	1,364	74%	

## 第68回東海地区国立大学体育大会成績結果一覧

- ①日時 2019年5月25日(土)・26日(日)  
 6月1日(土)・2日(日)・8日(土)・9日(日)・15日(土)・16日(日)・22日(土)・23日(日)・29日(土)・30日(日)  
 7月6日(土)・7日(日)・14日(日)
- ②場所 静岡県草薙総合運動場(陸上競技)他、各競技会場
- ③幹事大学 愛知教育大学
- ④成績

(男子)

競技種目	大学名	三重大		名大		岐阜大		名工大		豊技大		静岡大		浜医大		愛教大		備考
		順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
1	陸上競技	5	3.0	1	8.0	4	4.0	6	2.0	-	-	3	5.0	7	1.0	2	6.0	
2	水泳	5	4.0	1	10.0	2	8.0	6	3.0	8	1.0	4	5.0	7	2.0	3	6.0	
3	硬式野球	1	8.0	5	2.0	4	4.5	2	6.0	6	2.0	7	2.0	-	-	3	4.5	
4	準硬式野球	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	中止
5	硬式テニス	8	2.5	2	8.0	7	2.5	6	2.5	5	2.5	1	10.0	4	5.0	3	6.0	
6	ソフトテニス	1	6.0	6	1.0	4	3.0	5	2.0	-	-	2	5.0	-	-	3	4.0	
7	バスケットボール	2	6.0	1	8.0	4	4.0	7	1.0	6	2.0	3	5.0	-	-	5	3.0	
8	バレーボール	1	10.0	8	0.0	2	8.0	5	4.0	7	2.0	4	5.0	6	3.0	3	6.0	
9	卓球	4	4.0	3	5.0	5	3.0	6	2.0	7	1.0	2	6.0	-	-	1	8.0	
10	バドミントン	4	5.0	2	8.0	1	10.0	5	4.0	8	1.0	3	6.0	7	2.0	6	3.0	
11	サッカー	3	6.0	1	10.0	5	2.5	4	5.0	8	2.5	2	8.0	7	2.5	6	2.5	
12	ハンドボール	6	1.0	3	4.0	1	6.0	5	2.0	-	-	4	3.0	-	-	2	5.0	
13	柔道	5	0.0	3	3.0	1	5.0	4	2.0	-	-	-	-	-	-	2	4.0	
14	剣道	1	10.0	5	4.0	2	8.0	7	2.0	8	1.0	4	5.0	6	3.0	3	6.0	
15	空手道	7	0.0	3	5.0	5	3.0	-	-	6	2.0	1	8.0	4	4.0	2	6.0	
16	弓道	2	8.0	5	4.0	6	3.0	1	10.0	4	5.0	3	6.0	7	3.0	8	1.0	
17	体操	-	-	1	5.0	2	4.0	4	0.0	-	-	3	3.0	-	-	5	0.0	
18	馬術	2	5.0	1	6.0	6	1.5	4	3.5	-	-	3	3.5	-	-	5	1.5	
19	アーチェリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	中止
20	少林寺拳法	3	2.0	2	3.0	4	1.0	-	-	-	-	1	4.0	-	-	-	-	
男子順位		4		1		3		6		8		2		7		5		

(女子)

競技種目	大学名	三重大		名大		岐阜大		名工大		豊技大		静岡大		浜医大		愛教大		備考
		順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
1	陸上競技	5	2.0	3	4.0	4	3.0	-	-	-	-	2	5.0	6	0.0	1	6.0	
2	水泳	4	4.0	2	6.0	3	5.0	7	0.0	-	-	6	2.0	5	3.0	1	8.0	
5	硬式テニス	1	6.0	4	3.0	6	1.5	-	-	-	-	2	5.0	3	4.0	5	1.5	
6	ソフトテニス	5	2.0	1	6.0	4	3.0	6	1.0	-	-	3	4.0	-	-	2	5.0	
7	バスケットボール	4	2.0	5	1.0	2	4.0	-	-	-	-	1	5.0	-	-	3	3.0	
8	バレーボール	4	3.0	3	4.0	2	5.0	-	-	-	-	6	1.0	5	2.0	1	6.0	
9	卓球	6	1.0	4	3.0	1	6.0	2	5.0	-	-	3	4.0	-	-	5	2.0	
10	バドミントン	1	8.0	3	5.0	2	6.0	5	3.0	-	-	6	2.0	7	1.0	4	4.0	
12	ハンドボール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	オープン競技、台風のため中止
13	柔道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	開催なし
14	剣道	5	4.0	6	3.0	2	8.0	3	6.0	8	0.0	1	10.0	7	0.0	4	5.0	
15	空手道	1	6.0	2	5.0	6	1.0	-	-	-	-	3	4.0	4	3.0	5	2.0	
16	弓道	4	4.0	1	8.0	6	2.0	2	6.0	-	-	5	3.0	3	5.0	7	0.0	
17	体操	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	オープン競技
19	アーチェリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	中止
20	少林寺拳法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	開催なし
女子順位		5		1		3		6		8		2		7		4		

## 2019年度 クラブ・サークル一覧

### ● 体育系・全学

2019年12月1日現在

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計	
1	陸上競技部	50	15	65	30	トリアスロン部	24	3	27	
2	水泳部	20	8	28	31	応援団	17	19	36	
3	硬式野球部	39	5	44	32	ジャグリアーノ(ジャグリングサークル、大道芸)	28	19	47	
4	準硬式野球部	21	7	28	33	ロボコンクラブM3RC	7	1	8	
5	サッカー部	31	2	33	34	BLUE MARINE(スキダイビング)	38	14	52	
6	ラグビー部	16	6	22	35	バスケットボール同好会	25	5	30	
7	アメリカンフットボール部	34	11	45	36	スキューバダイビングサークル	45	19	64	
8	馬術部	4	6	10	37	天狗う(よさこいサークル)	9	13	22	
9	硬式テニス部	7	2	9	38	サイクリングサークル	41	0	41	
10	ソフトテニス部	31	11	42	39	合気道・武の道	5	12	17	
11	ハンドボール部	22	8	30	40	ラインブレイク(釣り・アウトドア)	32	4	36	
12	バレーボール部	9	12	21	41	NEXT(ダンス)	21	28	49	
13	バスケットボール部	13	8	21	42	極津(よさこい)	0	26	26	
14	バトミントン部	7	2	9	43	WILL(テニス)	47	21	68	
15	卓球部	34	7	41	44	テコンドー部	19	1	20	
16	体操競技部	3	0	3	45	Wild Geese(アウトドア)	124	42	166	
17	ダンス部	16	25	41	46	日本拳法部	4	5	9	
18	柔道部	1	0	1	47	電気自動車研究会	8	1	9	
19	剣道部	24	9	33	48	Links(ソフトテニス)	29	6	35	
20	空手道部	5	2	7	49	バドミントンサークル ひらめ	20	15	35	
21	少林寺拳法部	11	8	19	50	CHASE(テニス)	39	8	47	
22	合気道部	10	10	20	51	サバイバルゲームサークル	22	2	24	
23	ワンダーフォーゲル部	12	1	13	52	ITFテコンドーサークル	15	5	20	
24	自動車部	15	1	16	53	フロアボールサークルOCEAN	16	0	16	
25	弓道部	10	5	15	54	さーかす	36	10	46	
26	洋弓部	2	1	3	55	自然環境リテラシークラブ(NELC)	7	5	12	
27	ヨット部	8	3	11	56	女子ハンドボール部	0	9	9	
28	ボート部(休部)	0	0	0	57	Takeoff	3	0	3	
29	端艇部(カッター部)	5	3	8		合計(体育系・全学)	57	1141	471	1612

### ● 体育系・医学部

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計	
1	医学部サッカー部	26	15	41	11	医学部バレーボール部	18	33	51	
2	医学部水泳部	24	9	33	12	医学部卓球部	41	49	90	
3	医学部陸上競技部	20	17	37	13	医学部剣道部	22	24	46	
4	医学部ゴルフ部	47	30	77	14	医学部弓道部	23	19	42	
5	医学部ラグビー部	25	16	41	15	医学部空手道部	12	15	27	
6	医学部ハンドボール部	29	22	51	16	医学部競技スキー部	14	4	18	
7	医学部ソフトテニス部	21	32	53	17	医学部水泳部	13	8	21	
8	医学部硬式庭球部	28	35	63	18	医学部山岳部	26	7	33	
9	医学部バスケットボール部	18	18	36	19	合気道同好会	9	0	9	
10	医学部バドミントン部	28	36	64		合計(体育系・医学部)	19	444	389	833

## ●文化系・全学

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	管弦楽団	11	36	47	30	ぶるさぁ。(アンザンプルサークル)	24	32	56
2	吹奏楽団	15	27	42	31	Pioneer(アカペラ)	34	38	72
3	ギターマンドリンクラブ	12	15	27	32	アンビシャスカード(マジック)	35	15	50
4	ギタークラブ	11	9	20	33	食農サークル 農らく	31	20	51
5	邦楽部	7	10	17	34	DTMサークルJack	8	2	10
6	室内楽団	4	8	12	35	てらこや(国際交流サークル)	4	11	15
7	写真部	10	13	23	36	Meiku[メイク(地域おこし)]	28	23	51
8	合唱団	16	16	32	37	つくしんぼサークル(子供ボランティア)	11	64	75
9	美術部	4	19	23	38	mil-poa(手芸サークル)	1	16	17
10	漫画倶楽部	15	9	24	39	カフェ・サークル Le Lien	33	49	82
11	ESS	31	31	62	40	ジャズサークル Three Time Jazz Orchestra	6	22	28
12	軽音楽部	52	38	90	41	三重大学放送局	3	2	5
13	ピアノ同好会 KLUB KLAVIER	25	24	49	42	Bio Record(標本作製サークル)	4	1	5
14	表千家茶道部	7	16	23	43	計算研究会	28	0	28
15	裏千家茶道部	2	22	24	44	トラッパーズ	14	5	19
16	TRPG同好会	31	7	38	45	SYNERGY	8	0	8
17	創作活動サークル リカゲル	9	9	18	46	ラブライ部	13	1	14
18	囲碁・将棋部	36	2	38	47	カンボジア支援団体CSU	4	4	8
19	放送イベントサークル HELLO FM!	11	2	13	48	aquri-M	15	4	19
20	献血推進サークル ヴァンパイア	14	16	30	49	三重創生ファンタジスタクラブ	23	16	39
21	エレクトーンサークル23-tow・three-	6	14	20	50	忍者部	9	9	18
22	万葉旅行の会	7	8	15	51	C&S(料理・お菓子作りサークル)	3	3	6
23	Bb	63	35	98	52	歴史研究会	16	5	21
24	かめっぶり	20	11	31	53	ESD-SDGs	6	6	12
25	劇団アディスト(演劇)	7	9	16	54	DOT	4	5	9
26	ねこサークル	33	38	71	55	encourage	3	3	6
27	編入サークル Transfer	22	8	30	56	競技かるたサークル	9	17	26
28	天文サークル SOLA	17	16	33	57	起業サークルQuick Operation	5	0	5
29	BBS(教育ボランティア)	14	39	53		合計(文化系・全学) 57	894	880	1774

## ●文化系・医学部

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	東洋医学研究会	22	16	38	8	Mie Project	9	5	14
2	医学部軽音楽部	21	26	47	9	小児科ボランティア そくよん	8	65	73
3	セッションクラブ BAG	35	23	58	10	MUSH(Mie University Students Helper)	5	5	10
4	きゅうめい部	41	31	72	11	JAZZ BAR	1	6	7
5	U-Cam	3	7	10	12	すずみえ	4	3	7
6	子どもと一緒に小児医療を考える会	3	4	7	13	学生国際協力団体 Hearts Tree	4	3	7
7	良き医療者をめざす会	76	14	90		合計(文化系・医学部) 13	232	208	440

2019年度クラブ・サークル数	146	男	女	計
		2711	1948	4659

# Ⅲ 障がい学生支援室

## 2019年度 障がい学生支援室活動報告

### 1 障がいのある学生に関する相談支援

表1に2019年度の障がい学生に関する相談件数及び対応人数を示した。相談件数は224件であり、延べ人数は316名、実人数は73名であった。そのうち、教職員からの相談件数は87件、延べ人数は137名、実人数は32名であった。障がいのある学生の延べ人数は107名、実人数は19名であった。

表1 2019年度障がい学生に関する相談件数及び対応人数

	相談対応件数				相談者延人数				相談者実人数			
		障がい学生	教職員	その他		障がい学生	教職員	その他		障がい学生	教職員	その他
4月	28	19	5	12	45	19	14	12	23	8	8	7
5月	22	16	4	7	27	16	7	12	16	6	4	6
6月	15	8	3	7	18	8	3	7	12	5	3	5
7月	30	19	12	1	33	19	13	1	14	5	7	1
8月	7	5	2	2	13	5	5	3	9	3	4	2
9月	14	3	11	2	20	3	14	2	12	3	7	2
10月	15	6	6	5	20	6	9	5	12	3	7	2
11月	20	5	14	5	33	5	22	6	17	4	9	4
12月	18	10	7	5	29	10	14	5	12	4	6	2
1月	19	7	11	4	28	7	17	4	12	3	7	2
2月	12	6	7	2	24	6	14	4	13	3	8	2
3月	24	3	5	17	26	3	5	18	4	2	3	9
合計	224	107	87	69	316	107	137	79	※73	※19	※32	※22

※実人数は、2019年度の年間実人数であり、合計で示さない。

※障がい学生：障がいのある可能性を考慮しながら対応している学生を含む。

※その他：保護者、学外機関担当者

### 2 「障がい学生支援調整会議」の機能強化・拡充

障がい学生支援室と学生総合支援センター長、各部局選出の監督者及び学務担当係長によって構成される「障がい学生支援調整会議」を5回実施した。本会議の成果は以下のとおりである。

- ・合理的配慮の実施状況に関するモニタリング調査を学生及び教職員に実施し、状況把握及び事例の共有、蓄積を行った。
- ・第1回～第5回の会議において、部局における支援状況についての情報交換を行った。  
第5回の会議においては、スライドショーを用いた事例報告を行い、共有された情報をもとに、来年度の障がい学生支援の在り方について協議した。
- ・年間の実務スケジュールを整理・共有することによって、より体系的な支援体制への整備を行った。

### 3 学内関係部局および外部関係機関等との情報交換の推進

- ・京都大学高等教育アクセシビリティプラットフォームの舩越高樹先生を招聘し、「障害学生支援における合理的配慮のポイント」というテーマで障がい学生支援セミナー2019を開催した。セミナーの参加者は78名(学内69名、学外9名)であった。セミナー後は、各学部の監督者等と舩越先生との意見交換会を実施した。(11月1日)
- ・工学部の教職員に対して、障がい学生支援における合理的配慮及び事例対応に関するレクチャーを行った。(12月24日)

- ・障がい学生支援室、キャリア支援センター、学生なんでも相談室、ハローワーク津、ハローワーク四日市、三重県自閉症・発達障害支援センター、三重県障害者職業センター、若者就業サポートステーションみえの担当者が参加する「障害のある学生の就職支援に関する連携会議」を4回実施し、障がい者の就労支援に関する現状共有及び支援に関する意見交換を行った。(7月1日、10月7日、12月16日、2月18日)
- ・名古屋大学で開催された「障害学生就労支援者研修会」に参加し、発達障害のある学生の就労支援に関する現状や支援のあり方の協議および意見交換を行った(8月8日)。
- ・吹上ホール(名古屋市)で開催された「『働くチカラPROJECT』実践報告会」に参加し、発達障害者の就労支援に関する実践報告及び支援のあり方についての情報交換を行った。(10月19日)
- ・岐阜大学サテライトキャンパスで開催された「専門職養成学部における発達障害のある学生の支援を考えるワークショップ」に参加し、専門職養成学部(教育学部、医学部等)における発達障害学生への配慮・支援のあり方についての聴講及び情報交換を行った。(10月27日)
- ・百五銀行の特例子会社「百五管理サービス株式会社」を訪問し、業務内容や雇用実績、インターンシップ受入等に関する情報収集や意見交換を行った。(1月14日)

#### 4 ACS学生委員会に所属する学生サポーターの支援技能を養成

- ・教養教育において「障がい学生支援実践」の授業を開講した。受講者は40名であった。
- ・ACS学生委員会を組織し、39名の学生が委員会活動に参加した。バリアフリーマップの作成を行い、ユーザー視点での施設利用に関する情報収集及びそれらを取り入れたマップ作成に取り組んだ。
- ・三重県の障がい者がスポーツ・レクリエーションを通して交流する「2019三重県ふれあいスポレク祭」に、ACS学生委員会に所属するサポーター学生を引率し参加した(6月15日)
- ・ACS学生委員会の所属学生の支援スキル養成を目的として、特別支援学校聖母の家学園の在学生及び卒業生との交流会を鳥羽水族館で開催した(8月9日)。
- ・ACS学生委員会の所属学生が、伊勢市(三重交通Gスポーツの杜伊勢)で開催された「三重県障がい者スポーツフェスティバル2019」に参加し、障がい者スポーツの文化やその実際について体験した(11月16日)。
- ・ACS学生委員会の所属学生と障がい学生支援室が連携し、障がい学生に対する移動支援及び交流、意見交換を行った(11月13日、2月16日)。
- ・ACS学生委員会の所属学生が、名古屋市(名古屋大学)で開催された「学生対象セミナー2019 発達障害当事者が語る理想の大学作り」に参加し、(発達)障害のある学生当事者が大学生活の中で感じる困り事やそれに対するサポートのあり方についての知識を学んだ。また、セミナーでのパソコンテイクによる情報保障の方法について見学を行った。(2月12日)

#### 5 その他

- ・全国高等教育障害学生支援協議会(AHEAD JAPAN)第5回大会に参加し、障がい学生支援に関する知見や他大学の担当者との情報交換を行った。(6月28日～30日)
- ・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「令和元年度 障害学生支援実務者育成研修会(基礎プログラム)」を受講し、障がい学生支援に関する基礎知識の習得及び参加者との意見交換等を行った。(8月22日、23日)
- ・静岡大学で開催された「第9回東海地区障害学生支援フォーラム」に参加し、障がい学生の就労やキャリア支援に関する意見交換及び学修支援についての協議を行った。(9月10日)
- ・AP日本橋(東京都)で開催された「障害学生支援専門テーマ別セミナー」に参加し、「ニューロダイバーシティ」というテーマのもと、脳の多様性という視点から発達障害学生の支援や配慮のあり方、ユニバーサルデザイン等について聴講及び意見交換を行った。(11月14日)

- ・TKPガーデンシティ仙台で開催された「障害学生支援専門テーマ別セミナー」に参加し、「建設的対話」というテーマのもと、障がい学生本人及び支援に関わる関係者との建設的対話のあり方について、先進校担当者や当事者からの講演の聴講及び参加者との意見交換を行った。(2月15日)
- ・今年度より、東海地区の大学における障害学生支援の実務担当者によって構成される「東海地区障害学生支援フォーラム」の役員に教員(風間)が選出された。また、次期大会開催校に三重大学が決定した。

## 三重大学障がい学生支援セミナー2019 実施報告

2019年11月1日(金)に行った障がい学生支援セミナー2019 について下記の通り報告する。

### 1 参加者内訳

(名)

学外参加者	9(5)
学内参加者	69(55)
計	78(60)

※数字は参加人数( )はアンケート回収数

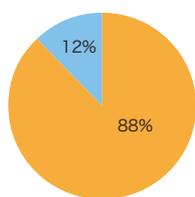
### 2 学内参加者内訳

(名)

	教養	人文	教育	医	工学	生物	イノベ	事務局	計
教員	2	6	10	3	5	5		4	35
事務	3	2	1	1	2	3	1	21	34
学生									
計	5	8	11	4	7	8	1	25	69

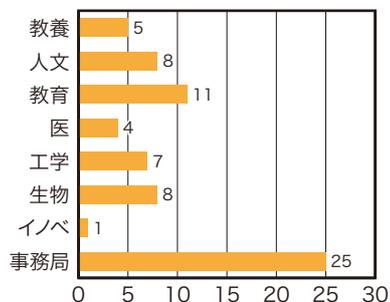
※学部以外のセンター等については、事務局へ含む。

#### 参加者内訳

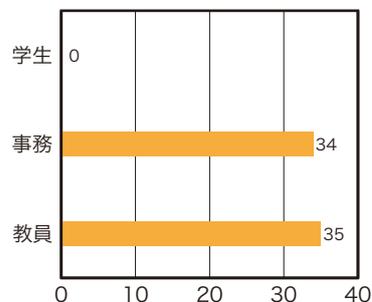


■ 学内者 ■ 学外者

#### 部局別



#### 職種別



下記、セミナー時に行ったアンケート結果(回収数60名)について記載する。

### 3 セミナーを知ったきっかけ(複数回答可)

学内会議	ポスター	E-mail	友人知人	その他	無回答	計
23	3	27	1	2	2	63

### 4 講演内容について

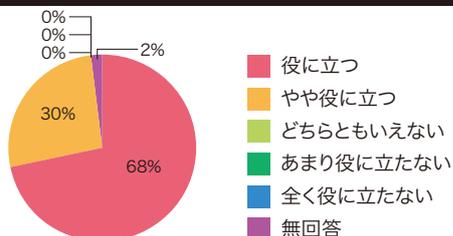
#### ● 三重大学における支援体制について(障がい学生支援室 風間惇希先生)

役に立つ	やや役に立つ	どちらともいえない	あまり役に立たない	全く役に立たない	無回答	計
41	18	0	0	0	1	60

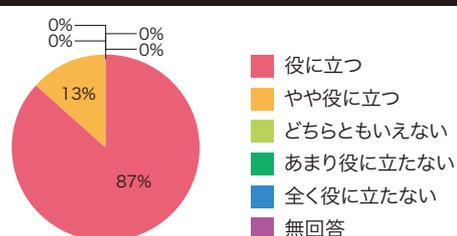
#### ● 障害学生支援における合理的配慮のポイント(京都大学 船越高樹先生)

役に立つ	やや役に立つ	どちらともいえない	あまり役に立たない	全く役に立たない	無回答	計
52	8	0	0	0	0	60

#### 三重大学における支援体制について



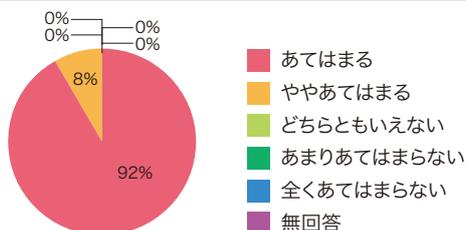
#### 障害学生支援における合理的配慮のポイント



### 5 今回の講演について(障がい学生への対応を考える機会となった)

あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	無回答	計
55	5	0	0	0	0	60

#### 今回の講演について(障がい学生への対応を考える機会となった)



## 6 講演についての意見や感想など 30件

### 【講演内容の意義等に関する感想や意見】

- ・たいへん分かりやすくご説明いただき、有難かったです。1人1人のことを考えますと、それぞれにどんな配慮をすればいいのかが難しいことだと、理解できました。
- ・大変参考になりました。一方で、対応の方法を考える上で、非常に複雑な問題であることもわかり、今後の学生対応について、多くの課題があることも分かりました。
- ・非常に役立つ内容でした。何が本質かを考えることの重要性が理解できました。
- ・基本的な考え方について非常にためになりました。
- ・障がい学生支援について、深く考えさせていただきました。わかりやすい内容でとてもよく理解できました。他のスライドについてもお話を伺いたいと思いました。
- ・初めて参加しました。具体的なお話をされて、とてもよかったです。ありがとうございます。
- ・貴重なご講演をありがとうございました。
- ・時間のカウントダウンのこと、時計を止めたらパニックになる、マイクをつかうことも一種の配慮であることetc.、様々なお話でわかりやすかったです。本人やご家族、また周りの学生についても考える機会となりました。
- ・とても内容の濃い、また分かりやすいお話でした。ありがとうございました。
- ・教えられる事が多く、とても参考になりました。
- ・大変分かりやすく参考になる点の多い有益な講演でした。特別支援教育と合理的配慮の違い、教育的配慮と合理的配慮の違いなど、合理的配慮についての理解が深まりました。HPのQ&Aもぜひ参考にさせていただきたいと思います。昨年度のセミナーでも思いましたが、全教員が聴くべき内容だと思いました。
- ・やや難しかった。Q&Aを見てみようと思う。
- ・大変分かりやすい講演でした。P.52以降について講演がなかったことが残念でした。次回に。
- ・「合理的配慮」という考え方がよく分かった。今日、聞いた「基準」に従って障がいのある学生に対応していけばやりやすくなると思う。教員がしなければならないのは「教育に対する支援である」ということは、なるほどそのとおりであると思う。
- ・分かりやすい講演で、問題点を具体的にあげてあり、よく分かった。事務職員として、教員との間に立ち、対応する立場なので、難しさを理解することができ、よい講演だった。
- ・障害の度合いが個々にちがうのでうまくサポートできるようにできることからやっていきたいと思う。
- ・評価の方法は基準としているものは変えずにやり方(場面)などを変えることが必要であることがわかった。これは障がい学生だけでなく、発表が苦手な学生や留学生についても適用できると思いました。本人や保護者から申請がなくても教員の裁量で行う合理的配慮もあると思います。
- ・時間に対しての容量が多いので、早口でききとりにくい。研修なので情報・知識の提供になるのかもしれないが、消化不良のままで多分記憶に少ししか残らないと思う。「本質」という捉え方が軸になったのはよかった。先生方は大変だと思った。
- ・内容に対して時間が短かったので、細かいところの理解が難しかったですが、クイズはとても参考になりました。HP確認します。
- ・多いに参考になりました。
- ・様々なケースの障がい学生への支援を求められるなか、とてもわかりやすく、意義のある講演でした。

### 【現場での課題等について】

- ・教育実習—教員免許—卒業がセットになっている現状の中で、教員になるための本質と学生への支援(←ここが「教育の機会保障」なのだとするところが1つ、整理し、考えていくポイントになってくるように感じました)の兼合いの難しさを感じていたところでした。
- ・工学部では、ある程度危険をとまなう(それを回避するために注意を与えながら)実習があります。特に身体に障がいをもつ学生に、危険の回避が困難な場合、実習に参加させて良いものかが、よく分かりません。多分、工学部では装置、薬品を安全に用いるのにあたり、体が自由に動くことを前提としているように思います。障がい者にも安全に実習できるように対策すれば、そうでない人にも利益になるのですが、簡単にできることでもないように思います。すでにこうした経験をもつ他所の学部、大学では、どのようにされたのでしょうか？

### 【災害支援について】

- ・障がい学生の話も良かったですが、最後の災害に関するお話が、とくに良かったです。(なかなか、災害支援(準備)ができていないと思うので)
- ・最後の防災についてはとても参考になりました。車椅子の子が1人いるのですが、今後の対応考えます。
- ・防災はとても参考になりました。先日の訓練では下肢不全の学生の担当教員は「(災害)当日は背負えばいいでしょ」と言っており、訓練には参加しませんでした。こちらも仕方ないかと諦めてしまいました。

### 【今後への提案】

- ・最後の質疑応答はあっても良かった。
- ・非常に有益な講演でした。各学部のFDで同内容の情報を全教員に理解してもらうべきだと思います。Moodleなどを用いたeラーニングなどの取組みも有効だと思います。
- ・教職員の採用の際の研修に盛り込むべきだと思います。実施されていけばいいのですが。
- ・船越先生の講演時間が、少し長いと思う。開始時間は、講師の都合もあるかと思うが、授業の開始時間に合わせた方がよいのでは。
- ・事務職員からの観点も欲しかった。

---

## 7 今後の障がい学生支援関連のFD・SDに希望するテーマなど 6件

---

- ・ケーススタディのようなスタイルで研修会をご企画いただけるとありがたいです。(自身の日頃の対応の問題点や課題を見出す機会がなかなか無いため)
- ・障がい学生にもいろいろな支援が必要な場合があるため、場合分けは必要であると考えます。具体的に学生の状態がわかるとその時の対応についても考えやすいです。
- ・発達障害学生に対する具体的な対応方法
- ・障がいがある教職員への支援
- ・最後にあった防災の話は、もっとくわしくききたいと思いました。
- ・全学のFD等に、支援者から働きかけて頂ければと思います。学部から動くことはなかなかきっかけがなく、難しい印象のため

# Ⅳ 学生なんでも相談室

## 2019年度 活動報告

### 1 相談・援助活動

#### (1) 来談者に関する統計

	新規相談受付						案内	Co.による 継続面接	その他の 継続対応	合計
	教育	心理	進路	生活	その他	合計				
4月	3	2	1	0	0	6	213	14	19	252
5月	4	4	4	1	0	13	35	20	30	98
6月	1	7	2	1	0	11	26	31	28	96
7月	3	5	1	0	0	9	16	42	36	103
8月	3	0	3	0	0	6	24	13	19	62
9月	2	2	2	1	0	7	19	22	42	90
10月	5	4	0	0	0	9	31	35	32	107
11月	3	4	2	2	0	11	26	35	56	128
12月	1	3	0	0	0	4	17	27	42	90
1月	3	6	4	0	0	13	32	32	61	138
2月	2	0	0	0	0	2	15	22	26	65
3月	0	2	3	1	0	6	17	23	45	91
合計	30	39	22	6	0	97	471	316	436	1320

※数字はいずれも延べ人数を示す。

※「Co.」は心理カウンセラーを指す。

※「新規相談受付」件数の「その他」は、心理テスト・箱庭療法体験、分類困難な相談等の総数を示す。

※「案内」は事務的な案内や比較的軽微な相談等、およびピアサポーターによる相談対応件数の総数を示す。

※「その他の継続対応」は、主にCo.による担当事例に関する面接室外のケースワーク活動等の総数を示す。

#### (2) ピアサポーターによる支援活動

- \* 新入生を対象とした「なんでも相談」ブースの設置(4月;総合研究棟Ⅱ1階)
- \* 名城大学との交流会(5月25日;名城大学)
- \* プレゼン練習会(5月;ピアサポートルーム)
- \* ピアサポーター内部研修会「って何?」(6月;ピアサポートルーム)
- \* ACS学生委員会との共催によるイベント(ゲーム)実施(6月;ピアサポートルーム)
- \* 環境 ISO学生委員会との共催による七夕イベント実施(7月;環境情報科学館)
- \* 「三重大生を元気にする講演会」の企画と当日進行(7月;環境情報科学館)
- \* SA交流会(11月;ピアサポートルーム)
- \* 内定者による就活支援イベントの実施(11月;環境情報科学館)
- \* 三重大学アカデミックフェでの活動報告(11月;三翠ホール)
- \* びあのお(全国大学ピアサポーター合同研修会)へ参加(12月;愛媛大学)
- \* 東京工業大学主催の「生応援フォーラム」にゲストとして参加(12月;東京工業大学)
- \* 餅つき大会(1月;総合研究棟Ⅱ1階)
- \* 東京大学ピアサポーターとの交流(東大・工による視察)(2月;ピアサポートルーム)

## 2 教育・広報活動

### (1) 教育活動

授業の担当(いずれも鈴木によるもの)

教養教育	前期	「ピアサポート実践」※副担当に風間惇希講師(障がい学生支援室)
教養教育	後期	「こころのサポート」
教養教育	後期	「学生生活支援実践」
教養教育	後期	「ピアサポート実践」※主担当は風間惇希講師(障がい学生支援室)
教育学研究科	前期	「学校臨床心理学特論演習」

### (2) 広報活動

#### ①教職員研修(FD・SD)

実施せず。

#### ②広報

- ・新入生に対する相談室PRカードの配布
- ・来談促進用ポスターの作成と掲示

## 3 研究・研修・講演・地域連携

### (1) 研究

- ・報告書『休退学者に関する分析 ー直近の5年間の状況についてー』を取りまとめ、教育会議にて報告(2019年9月17日)

### (2) 研修

- ・第57回全国学生相談研修会(主催:日本学生相談会、2019年11月17日～19日)に鈴木が参加。

### (3) 講演・地域連携

- ・公益社団法人三重県看護協会 三重県保健師助産看護実習指導者講会 講師  
テーマ「カウンセリング」 2019年8月30日(鈴木)
- ・三重県立看護大学 ハラスメント防止等に係る研修会【全教職員対象】 講師  
テーマ「ハラスメントに係る相談の実際」 2019年9月6日(鈴木)
- ・三重県立看護大学 ハラスメント防止等に係る研修会【ハラスメント調整員対象】 講師  
テーマ「ハラスメント調整員に求められる対応」 2019年9月6日(鈴木)
- ・東京工業大学 学生応援フォーラム(講演) 講師  
テーマ「三重大ピアが事にしていること」 2019年12月25日(鈴木・ピアサポータ学生(鈴木、豊西、安藤))

## 2019年度 学生なんでも相談室スタッフ

室長	鈴木 英一郎	(学生総合支援センター 講師)
カウンセラー	藤川 和	(非常勤)
	牧野 勢津子	(非常勤)
	伊藤 拓	(非常勤)
インターカー	浮田 めぐみ	(事務補佐員)

## ◆ 目次 ◆

1. 相談室利用状況から
2. 【連載】学生が先生に言われて嬉しかった一言！
3. お知らせ

先生方におかれましては、日頃より学生なんでも相談室の活動にご理解、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。  
2012年度より当相談室ではニュースレター「学生なんでも相談室ニュース」を発行して、相談室の活動状況などをご紹介します。

ご多忙の折、大変恐縮ですが、ぜひご高覧いただけましたら幸いです。

## 1 相談室利用状況から

### ◎ 2018年度の相談室利用状況(数字はいずれも実数)

	利用者数	(内 教職員)	(内 保護者)
4 - 6 月期	256	21	10
7 - 9 月期	85	17	4
10 - 12 月期	112	16	9
1 - 3 月期	100	21	7

上記の表は、2018年度(昨年度)の当相談室の利用状況を示しております。また、合わせて教職員の方からのご相談、また保護者の方からのご相談件数(内数)も示しています。数字を見てみますと、教職員の方からのご相談は、年度の始めや終わりといった時期に比較的多くなる傾向があるようですし、一方で、保護者の方からのご相談は、各学期の始め頃に多くなるといった傾向があるようです。

ちなみに、先生方からいただくご相談は、主に不登校状態にある学生への対応について、あるいは、学生間の人間関係トラブルへの対応について、等といった内容が多く、また、保護者の方からいただくご相談も、そのほとんどは不登校(ひきこもり)状態になっている学生(お子さん)に関するご相談が多いように感じられます。

このように、悩んでいてもなかなか自ら相談室まで行くことが出来なかったり、そもそも大学に出て来られなかったりといった学生への対応においては、先生方や学務系職員の方、そして保護者の方も含めた周囲の関係者間での連携や協働の体制が欠かせません。先生方におかれましても、対応される上でお困りのケースがございましたら、当相談室までご相談いただければと存じます。また、このようなケースへの対応に際して、当相談室の方からご相談申し上げることもあるかと存じますが、今後もどうぞご協力いただけますようよろしくお願い致します。

## 2 【連載】学生が先生に言われて嬉しかった一言！

毎回「先生からこんな言葉をかけてもらえて嬉しかった」、「あの時の先生のこんな言葉で支えられた」というような本学における学生の体験を、ピアサポーター学生委員会の協力のもと収集し、連載企画として順次紹介しております。

「他の先生はああ言ってたけど、それはそれ。全部気にしなくていいよ。」

研究に関して、他の先生方から貴重なご助言を頂いたのですが、そのご助言を反映させるのが難しく、指導教員に相談に行きました。

その際、指導教員から、必ずしも全て反映させなくてもいいよとっていただいたおかげで、気が楽になりました。  
(学部4年)

\*\*\*\*\*

ある学生が、研究発表した際に他の研究室の先生方からいただいたコメントについて、指導教員と一緒に振り返りをしてもらっている中で経験した一コマだそうです。

コメントする側からすれば、単なる一意見、参考意見程度に提示したつものことであったとしても、生真面目な学生さんほど「せっかくいただいたご助言なのだから、何とか反映させなければいけない」と、自分自身で高いハードルを課してしまうようなことがあるかと存じます。

また、やはり生真面目な学生であれば尚のこと、先生というお立場の方からいただいたご助言について、勝手に自身の判断で取捨選択するようなことは許されない、と考えても仕方がないのかもしれませんが。

当相談室に置きましても、『うまく研究成果を挙げられず、またそれ故、先生方に相談することに引け目を感じてしまって、次第に大学に出て来られなくなった』というような学生からの相談を数多く承っています。そして、その中には「そんなに真面目に受け取ることは無いのに…」、「先生はきっとそんな深刻な意味で言った訳じゃないだろうに…」と思われるようなやり取りの中で調子を崩しているようなケースも散見されます。先生方におかれましては、ご指導いただいている学生の様子などからご判断いただき、適宜こうした柔軟な受け止め方ができるような言葉かけをいただけましたら幸いです。

### 3 お知らせ

#### ★ 学生なんでも相談室は、学生だけが相談できる場所、ではありません！

もちろん、三重大生の日々の生活の中で起こる困りごとや悩みごとの相談がメイン業務ではありますが、学生の対応に際し、お困りになされている教職員、保護者の方のご相談も承っております。

どうぞ気軽にご利用ください。また、保護者の方へもご紹介いただければと存じます。

#### ★ 学生理解、または学生対応に関する各種講演、FDも承っております。

これまでも、学生対応に関する総論的な留意点の解説をはじめ、不登校、留年を繰り返す学生、ハラスメント問題等のテーマでの講演のご依頼を各部局からいただいております。

ご用命がございましたら、学生なんでも相談室までご連絡ください。

◆このメール内容についてのお問い合わせはこちらまでお寄せください。

E-Mail [sodan@ab.mie-u.ac.jp](mailto:sodan@ab.mie-u.ac.jp)

◆このメールに掲載された全ての記事、文章等の無断転載を禁止します。

Copyright (C) 三重大学学生総合支援センター 学生なんでも相談室.

All Rights Reserved.



# キャリア支援センター

## 2019年度 活動報告

### 1 キャリア教育

#### 【2019年度開講 教養教育 キャリア教育領域一覧】

科目群	授業科目	単位	授業テーマ	担当教員	授業時限		履修者数	
					前期	後期	前期	後期
学生支援	留学生支援実践 (国際理解実践S)	2単位	留学生支援実践	風間 惇希	-	水9・10	-	10(2)
	障がい学生支援実践 (現代社会理解実践S)	2単位	障がい学生への支援	栗田 季佳 他	-	火3・4	-	19(56)
	ピアサポート実践	2単位	ピアサポート実践	鈴木 英一郎 他	金9・10	-	5	-
			ピアサポート実践	風間 惇希 他	-	金9・10	-	5
	学生生活支援実践	2単位	学生生活支援実践	鈴木 英一郎	-	金7・8	-	2
	学習支援実践	2単位	効果的な学習の支援	長濱 文与	火1・2	-	0	-
			学習支援の企画と実践	風間 惇希	水9・10	-	10	-
広報誌編集実践	2単位	広報誌編集実践	長屋 祐一	-	木7・8	-	17	
就業力育成	キャリアプランニング入門	2単位	キャリアデザイン	風間 惇希	水5・6	-	93	-
			キャリアを考える	金森 史絵	火7・8	-	6	-
			キャリアを考える	金森 史絵	水9・10	-	7	-
			キャリアを考える	杉町 宏	-	月7・8	-	35
			キャリアを考える	杉町 宏	-	水3・4	-	5
			キャリアプランニング	長岡 みか	水3・4	-	1	-
			キャリアプランニング	長岡 みか	-	水5・6	-	58
	インターンシップ入門	2単位	ワークルール	金森 史絵	月7・8	-	3	-
			インターンシップ	長岡 みか	水5・6	-	24	-
	キャリアイベント実践	2単位	模擬面接体験	杉町 宏	-	木5・6	-	3
	キャリア形成論	2単位	キャリア形成	金森 史絵	木3・4	-	4	-
	企業研究入門	2単位	企業を知る	杉町 宏	-	火7・8	-	9
	アントレプレナー論 (日本理解特殊講義S)	2単位	起業マインドの醸成	松岡 守 他	-	水3・4	-	8(4)
地域と仕事 (日本理解特殊講義S)	2単位	地域の仕事を知る	西村 訓弘 他	月7・8	-	72(75)	-	
マネジメン ト	こころのサポート (こころのサポート)	2単位	こころのサポート	望木 郁代	木1・2	-	6(57)	-
			こころのサポート	鈴木 英一郎	-	火3・4	-	6(27)
			こころのサポート	望木 郁代	-	木5・6	-	5(54)

( )は教養統合科目で外数

計 7科目 10科目	231(132)	182(143)
合計	304	336

## 2 インターンシップ

2020.3.31現在  
延べ数

### 【2019年度 インターンシップ参加者数(所属学部・研究科別/学年別)】

所属	学部生					大学院生			合計
	1年	2年	3年	4年	小計	修士	博士	小計	
人文学部	2	22	189	1	214	1		1	215
教育学部	1	3	26	10	40			0	40
医学部					0			0	0
工学部	22	10	219	16	267	385	1	386	653
生物資源学部	58	37	326	4	425	21	1	22	447
地域イノベーション学研究科	-	-	-	-	0	10		10	10
非正規生	12				12	3		3	15
合計	95	72	760	31	958	420	2	422	1380

- 企業等受入数(実数) 575機関
- 事前研修会 1,146名  
計3回(5/1、5/29、7/23)
- 事後研修会 158名  
計8回(10/29、10/31、11/6、11/7、11/8、11/14、11/15、11/19)

## 3 就職活動支援

### (1) 就職ガイダンス

- ・ 2019年4月～2020年3月 37回実施 講堂大ホール他
- ・ 参加学生数 延べ 7,443人(2020.3.31)

参加数	NO	日程	曜日	時間帯	場所	ガイダンス名	講師
904	1	4月17日	(水)	13:00～14:30	講堂大ホール	就職活動スケジュール・準備について概要、就活手帳配布	マイナビ
		4月18日	(木)	16:20～17:50			
		4月19日	(金)	16:20～17:50			
323	2	4月24日	(水)	16:20～17:50	講堂小ホール	SPI受検(性格のみ)講座	リクルートキャリア
128	3	5月8日	(水)	①13:00～14:30 ②16:30～18:00	講堂小ホール	公務員とは?試験対策は? 公務員講座受講用 90分×2	生協
1032	4	5月11日	(土)	午前	講堂	インターンシップ事前研修会	キャリア支援センター
793	5	5月11日	(土)	午後	講堂	インターンシップ説明会(企業54社)	キャリア支援センター
33	6	5月13日(月)-31日(金)		昼休み	第5会議室	インターンシップ個別マッチング相談会	キャリア支援センター

参加数	NO	日程	曜日	時間帯	場所	ガイダンス名	講師
205	7	5月15日	(水)	①13:00~14:30 ②16:20~17:50	第5会議室	インターンシップ履歴書書き方 + エントリーシート対策講座	キャリア 支援センター
		5月17日	(金)	16:20~17:50	第5会議室		
		5月21日	(火)	16:20~17:50	第5会議室		
133	8	5月22日	(水)	16:20~17:50	講堂小ホール	SPI受検(性格のみ)講座	リクルートキャリア
102	9	5月29日	(水)	午後	講堂小ホール	インターンシップ事前研修会 + インターンシップ説明会(企業参加なし)	キャリア 支援センター
-	10	6月3日(月)-14日(金)		昼休み	第5会議室	インターンシップ個別マッチング相談会	キャリア 支援センター
21	11	6月5日	(水)	16:20~17:50	第5会議室	インターンシップ履歴書書き方 + エントリーシート対策講座	キャリア 支援センター
14		6月7日	(金)	16:20~17:50	第5会議室		
324	12	6月12日	(水)	16:20~17:50	講堂小ホール	就活適性検査模擬(言語・非言語)テスト講座	マイナビ
40	13	6月15日	(土)	終日	東紀州	企業研究会in東紀州	キャリア 支援センター
48	14	7月6日	(土)	終日	伊勢志摩	企業研究会in伊勢志摩	キャリア 支援センター
10	15	7月17日	(水)	終日	講堂小ホール	企業説明会&マッチング会	キャリア 支援センター
560 (保護者数)	16	10月5日	(土)	10:30~12:00	講堂大ホール	保護者就職活動説明会	キャリア 支援センター
-				午後	各会場 (講堂・各学部)	学部別保護者向け説明会	各学部
94	17	10月8日	(火)	16:20~18:20	メープル館	採用担当者が語るぶっちゃけディスカッション (愛知県企業6社)	キャリア 支援センター
29	18	10月15日	(火)	16:20~17:50	メープル館	採用担当者が語るぶっちゃけディスカッション (三重県内企業メーカー5社)	キャリア 支援センター
16	19	10月16日	(水)	16:20~17:50	メープル館	採用担当者が語るぶっちゃけディスカッション (三重県内企業IT8社)	キャリア 支援センター
57	20	10月23日	(水)	16:20~17:50	メープル館	採用担当者が語るぶっちゃけディスカッション (三重県内企業食品業界5社)	キャリア 支援センター
157	21	10月29日	(火)	16:20~17:50	第5会議室	インターンシップ事後研修会	キャリア 支援センター
		10月31日	(木)	16:20~17:50			
		11月6日	(水)	16:20~17:50			
		11月7日	(木)	16:20~17:50			
		11月8日	(金)	16:20~17:50			
		11月14日	(木)	16:20~17:50			
		11月15日	(金)	16:20~17:50			
		11月19日	(火)	16:20~17:50			
23	22	10月30日	(水)	16:20~17:50	メープル館	採用担当者が語るぶっちゃけディスカッション (金融・運輸・インフラ他5社)	キャリア 支援センター
86	23	11月5日	(火)	16:20~17:50	臨床第三講義室	就活適性検査模擬(言語・非言語)テスト講座	マイナビ

参加数	NO	日程	曜日	時間帯	場所	ガイダンス名	講師
24	24	11月12日	(火)	16:20~18:20	第5会議室	エントリーシート対策 自己PR編	マイナビ
33/29		11月13日	(水)	①13:00~14:30 ②16:20~17:50	第5会議室		
83	25	11月20日	(水)	16:20~18:20	第5会議室	エントリーシート対策 志望動機編	キャリア 支援センター
		11月22日	(金)	16:20~18:20	第5会議室		
		11月26日	(火)	16:20~18:20	第5会議室		
215	26	11月27日	(水)	13:00~16:10	講堂全て	三重県内企業研究会	キャリア 支援センター
10	27	11月27日	(水)	16:20~17:20	講堂	インターンシップ成果報告会	キャリア 支援センター
92	28	12月3日	(火)	16:20~18:20	第5会議室	グループディスカッション	マイナビ
		12月4日	(水)	①13:00~14:30 ②16:20~17:50	第5会議室		
136	29	12月11日	(水)	13:00~16:10	講堂	公務員業務説明会	生協/ キャリア支援センター
272	30	12月18日	(水)	13:00~16:10	講堂	三重県外企業研究会	キャリア 支援センター
254	31	1月14日	(火)	16:20~17:50	臨床第三講義室	就職活動直近ガイダンス 学内合説冊子配布	マイナビ
		1月22日	(水)	16:20~17:50	臨床第三講義室		
119	32	1月21日	(火)	16:20~17:50	講堂大ホール	学内企業説明会まわりかた講座 + 企業研究ノウハウ	アクセスヒューマ ネクスト
		1月22日	(水)	16:20~17:50	講堂大ホール		
211	33	1月29日	(水)	16:20~17:50	臨床第三講義室	面接対策講座	マイナビ
111	34	2月12日	(水)	①10:30~12:00 ②13:00~14:30 ③14:50~16:20	第5会議室	実践!集団面接	マイナビ
		2月14日	(金)	①10:30~12:00 ②13:00~14:30 ③14:50~16:20	第5会議室		
158	35	3月3日	(火)	終日	講堂	学内企業説明会 600社 ※新型コロナウイルス感染防止のため 開催方法変更(1人1回参加形式)	アクセスヒューマ ネクスト
		3月4日	(水)				
		3月5日	(木)				
87	36	2月(11日間)		10:00~16:30	メープル館2F 就職支援コーナー	エントリーシート対策相談会	キャリア 支援センター
117	37	3月(12日間)		10:00~16:30	メープル館2F 就職支援コーナー	エントリーシート対策相談会	キャリア 支援センター

(2)ミニ講座(少人数制：個人面接・集団面接・グループディスカッション対策)

・2019年4月～2020年3月 15回実施 第5会議室 他

・参加学生数 延べ79人

	実施日	内容	参加数		実施日	内容	参加数
1	4/1	個人面接対策	6	9	7/5	個人面接対策	3
2	4/10	個人面接対策	6	10	7/24	個人面接対策	6
3	4/19	個人面接対策	6	11	7/31	個人面接対策	3
4	4/22	個人面接対策	4	12	3/9	個人面接対策	6
5	5/13	個人面接対策	6	13	3/19	個人面接対策	5
6	5/27	個人面接対策	5	14	3/23	個人面接対策	6
7	6/19	個人面接対策	6	15	3/30	個人面接対策	5
8	6/26	個人面接対策	6				
							計 79

(3)就職相談

・キャリアカウンセラー就職相談〔就職相談コーナー〕

#### 【月別・相談内容別件数】

延べ数

	就職相談	進路決定 相談	内定・内 定の相談	履歴書 作成	エントリー シート作成	志望動機	自己PR	面接	メンタル 面	自己分析	その他	合計
4月	49	3	13	8	64	7	3	113	0	1	2	263
5月	36	5	24	1	59	7	1	75	1	0	8	217
6月	24	0	25	7	79	1	2	38	0	0	4	180
7月	22	1	17	2	58	2	0	77	0	0	2	181
8月	27	0	12	0	24	2	0	45	0	0	3	113
9月	23	2	10	2	19	2	0	16	0	0	3	77
10月	41	1	9	1	29	1	0	31	0	0	7	120
11月	23	1	4	3	34	2	3	25	0	0	2	97
12月	34	6	4	4	69	2	15	23	0	0	4	161
1月	40	2	0	5	96	2	13	35	0	0	1	194
2月	30	2	1	2	94	7	8	41	0	0	0	185
3月	36	2	1	4	82	10	2	62	0	1	2	202
合計	385	25	120	39	707	45	47	581	1	2	38	1990

## 4 キャリアピアサポーター

■ 2019年度(前期)資格認定者  
 上級 7人  
 初級 4人

■ 2019年度(後期)資格認定者  
 上級 1人  
 初級 30人

合計 42人

# 2019年度 就職状況について

【地域別就職状況及び就職率】

2020年5月1日現在

区分	卒業・修了者	卒業・修了者の内訳											就職率(%) (就職希望者に占める就職者の割合)				
		進学者	臨床研修医	その他	うち未内定者	就職者	三重県	愛知県	東海地方 (静岡・岐阜)	関東地方	近畿地方	その他	令和1年度		(参考) 平成30年度 就職率(%)	(参考) 平成29年度 就職率(%)	
													就職率(%)	対前年度増減(%)			
人文学部	文化学	98(79)	5(4)	( )	8(8)	1(1)	85(67)	24(17)	22(18)	3(3)	24(21)	10(7)	2(1)	98.8(98.5)	1.7(2.1)	97.1(96.4)	97.0(98.6)
	法律経済学	191(88)	4(1)	( )	8(2)	1( )	179(85)	43(18)	73(40)	7(2)	38(18)	15(6)	3(1)	99.4(100.0)	1.1(1.3)	98.3(96.7)	98.9(100.0)
	計	289(167)	9(5)	( )	16(10)	2(1)	264(152)	67(35)	95(58)	10(5)	62(39)	25(13)	5(2)	99.2(98.3)	1.4(1.8)	97.8(97.5)	98.2(99.3)
教育学部	学校教育教員養成課程	206(127)	17(10)	( )	4(1)	( )	185(116)	102(61)	39(21)	10(8)	17(16)	13(8)	4(2)	100.0(100.0)	1.1(1.8)	98.9(98.2)	98.2(96.8)
	情報教育課程	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	-(-)	-(-)	-(-)	100.0(-)
	生涯教育課程	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	-(-)	-(-)	-(-)	100.0(-)
	人間発達科学課程	4(3)	1(1)	( )	3(2)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	-(-)	-(-)	-(-)	95.2(93.8)
	計	210(130)	18(11)	( )	7(3)	( )	185(116)	102(61)	39(21)	10(8)	17(16)	13(8)	4(2)	100.0(100.0)	1.5(2.4)	98.5(97.6)	97.9(96.4)
医学部	医学	129(40)	( )	123(39)	6(1)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	看護学	77(73)	1(1)	( )	2(2)	( )	74(70)	44(41)	20(19)	1(1)	3(3)	5(5)	1(1)	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	計	206(113)	1(1)	123(39)	8(3)	( )	74(70)	44(41)	20(19)	1(1)	3(3)	5(5)	1(1)	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	100.0(100.0)
工学部	機械工学	91(10)	56(7)	( )	2( )	( )	33(3)	9(1)	12(1)	( )	8( )	3( )	1(1)	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	97.4(100.0)
	電気電子工学	96(3)	53(1)	( )	( )	( )	43(2)	8( )	22(1)	1( )	7(1)	5( )	( )	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	97.9(100.0)
	分子素材工学	94(26)	64(10)	( )	2( )	1( )	28(16)	2(1)	18(10)	( )	6(3)	2(2)	( )	96.6(100.0)	1.6( )	95.0(100.0)	100.0(100.0)
	建築学	56(20)	15(7)	( )	2(2)	( )	39(11)	1( )	10(3)	3(3)	16(4)	7(1)	2( )	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	94.9(92.3)
	情報工学	52(6)	14(1)	( )	2( )	1( )	36(5)	1( )	15(2)	( )	16(3)	4( )	( )	97.3(100.0)	1.1( )	96.2(100.0)	100.0(100.0)
	物理工学	42(1)	16( )	( )	2( )	1( )	24(1)	3( )	17(1)	1( )	2( )	1( )	( )	96.0(100.0)	△4.0( )	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	計	431(66)	218(26)	( )	10(2)	3( )	203(38)	24(2)	94(18)	5(3)	55(11)	22(3)	3(1)	98.5(100.0)	0.1( )	96.4(100.0)	98.0(97.5)
生物資源学部	資源循環学	74(38)	11(5)	( )	5(2)	3(1)	58(31)	12(5)	18(9)	4(1)	15(11)	5(4)	4(1)	95.1(96.9)	△4.9(△3.1)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	共生環境学	73(24)	14(4)	( )	5(1)	1( )	54(19)	12(4)	21(8)	4( )	9(4)	7(2)	1(1)	98.2(100.0)	△1.8( )	100.0(100.0)	95.0(96.0)
	生物圏生命科学	103(46)	34(12)	( )	3( )	( )	66(34)	17(8)	23(11)	3(1)	12(7)	10(7)	1( )	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	93.3(96.9)
	計	250(104)	59(21)	( )	13(3)	4(1)	178(84)	41(17)	62(28)	11(2)	36(22)	22(13)	6(2)	97.8(98.8)	△2.2(△1.2)	100.0(100.0)	95.8(97.7)
	合計	1,386(584)	305(64)	123(39)	54(21)	9(2)	904(460)	278(156)	310(144)	37(19)	173(91)	87(42)	19(8)	99.0(99.6)	0.3(1.1)	98.7(98.5)	97.8(98.2)
人文学部	地域文化論専攻	3( )	1( )	( )	2( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	-(-)	-(-)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	社会科学専攻	9(6)	( )	( )	5(5)	( )	4(1)	( )	( )	( )	2( )	2(1)	( )	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	87.5(100.0)
	計	12(6)	1( )	( )	7(5)	( )	4(1)	( )	( )	( )	2( )	2(1)	( )	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	92.3(100.0)
教育学研究科	教育学専攻	29(10)	( )	( )	4(2)	( )	25(8)	16(6)	5( )	1( )	( )	2(2)	1( )	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	教職実践高度化専攻	16(5)	( )	( )	( )	( )	16(5)	15(5)	( )	1( )	( )	( )	( )	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	-(-)
	計	45(15)	( )	( )	4(2)	( )	41(13)	31(11)	5( )	2( )	( )	2(2)	1( )	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	100.0(100.0)
医学系研究科	医学専攻(修士課程)	6(3)	3(3)	( )	( )	( )	3( )	1( )	1( )	( )	( )	( )	1( )	100.0(-)	( )	100.0(100.0)	100.0(-)
	看護学専攻(修士課程)	2(2)	( )	( )	( )	( )	2(2)	2(2)	( )	( )	( )	( )	( )	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	看護学専攻(博士課程前期)	6(5)	1( )	( )	( )	( )	5(5)	5(5)	( )	( )	( )	( )	( )	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	看護学専攻(博士課程後期)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	-(-)	-(-)	100.0(100.0)	-(-)
	生命医学専攻(博士課程)	40(8)	( )	( )	6(2)	1(1)	34(6)	25(2)	1(1)	1( )	2(2)	2( )	3(1)	97.1(85.7)	△2.9(△14.3)	100.0(100.0)	97.6(100.0)
	計	54(18)	4(3)	( )	6(2)	1(1)	44(13)	33(9)	2(1)	1( )	2(2)	2( )	4(1)	97.8(92.9)	△2.2(△7.1)	100.0(100.0)	98.2(100.0)
工学研究科	機械工学専攻	55( )	1( )	( )	( )	( )	54( )	4( )	27( )	1( )	17( )	5( )	( )	100.0(-)	( )	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	電気電子工学専攻	42( )	( )	( )	1( )	1( )	41( )	3( )	20( )	2( )	10( )	5( )	1( )	97.6(-)	△2.4(-)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	分子素材工学専攻	58(10)	1( )	( )	( )	( )	57(10)	4( )	28(7)	3( )	14(3)	7( )	1( )	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	建築学専攻	14(5)	( )	( )	2(1)	1(1)	12(4)	2(1)	3( )	1(1)	6(2)	( )	( )	92.3(80.0)	△7.7(△20.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	情報工学専攻	22(2)	1( )	( )	( )	( )	21(2)	( )	5( )	2( )	12(4)	2( )	( )	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	物理工学専攻	19(1)	1(1)	( )	( )	( )	18( )	1( )	11( )	1( )	2( )	3( )	( )	100.0(-)	( )	100.0(-)	100.0(100.0)
	計(博士前期)	210(18)	4(1)	( )	3(1)	2(1)	203(16)	14(1)	94(7)	10(1)	61(7)	22( )	2( )	99.0(94.1)	△1.0(△5.9)	100.0(100.0)	100.0(100.0)
工学研究科	材料科学専攻	4(2)	( )	( )	( )	( )	4(2)	2(1)	1(1)	1( )	( )	( )	( )	100.0(100.0)	( )	100.0(-)	100.0(100.0)
	システム工学専攻	6(1)	( )	( )	2(1)	( )	4( )	1( )	1( )	( )	2( )	( )	( )	100.0(-)	( )	100.0(-)	71.4(100.0)
	計(博士後期)	10(3)	( )	( )	2(1)	( )	8(2)	3(1)	2(1)	1( )	2( )	( )	( )	100.0(100.0)	( )	100.0(-)	84.6(100.0)
生物資源学	資源循環学専攻	16(7)	2(2)	( )	4(3)	1(1)	10(2)	3( )	2( )	1( )	4(2)	( )	( )	90.9(66.7)	△9.1(△33.3)	100.0(100.0)	95.0(88.9)
	共生環境学専攻	25(4)	1( )	( )	3( )	( )	21(4)	2( )	10(1)	1(1)	4(1)	3(1)	1( )	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	生物圏生命科学専攻	32(7)	2( )	( )	8(2)	1( )	22(5)	( )	9(1)	( )	4(2)	5( )	4(2)	95.7(100.0)	△4.3( )	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	計(博士前期)	73(18)	5(2)	( )	15(5)	2(1)	53(11)	5( )	21(2)	2(1)	12(5)	8(1)	5(2)	96.4(91.7)	△3.6(△8.3)	100.0(100.0)	98.6(96.2)
	資源循環学専攻	6(3)	( )	( )	4(3)	( )	2( )	1( )	( )	( )	( )	1( )	( )	100.0(-)	( )	100.0(-)	100.0(-)
共生環境学専攻	7(1)	( )	( )	1( )	1( )	6(1)	2( )	2( )	( )	2(1)	( )	( )	85.7(100.0)	△14.3(-)	100.0(-)	50.0(-)	
生物圏生命科学専攻	5(1)	( )	( )	4(1)	( )	1( )	( )	1( )	( )	( )	( )	( )	100.0(-)	-(-)	-(-)	77.8(100.0)	
	計(博士後期)	18(5)	( )	( )	9(4)	1( )	9(1)	3( )	3( )	( )	2(1)	1( )	( )	90.0(100.0)	△10.0(-)	100.0(-)	75.0(100.0)
地域イノベーション学	地域イノベーション学専攻(博士前期)	9(2)	( )	( )	( )	( )	9(2)	3(1)	2( )	( )	2( )	2(1)	( )	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	計	9(2)	( )	( )	( )	( )	9(2)	3(1)	2( )	( )	2( )	2(1)	( )	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	100.0(100.0)
	地域イノベーション学専攻(博士後期)	5(2)	( )	( )	1(1)	( )	4(1)	3(1)	( )	1( )	( )	( )	( )	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	100.0(-)
	計	5(2)	( )	( )	1(1)	( )	4(1)	3(1)	( )	1( )	( )	( )	( )	100.0(100.0)	( )	100.0(100.0)	100.0(-)
	合計	436(87)	14(6)	( )	47(21)	6(3)	375(60)	95(24)	129(11)	17(2)	83(15)	39(5)	12(3)	98.4(95.2)	△1.6(△4.8)	100.0(100.0)	98.1(98.8)

(注)博士課程、博士後期課程の修了者については、単位取得満期退学者を含む。

( )内は、女子学生数を内数で示す。

【産業別就職状況】

2020年5月1日現在

区分	卒業・修了者	就職者	就職者の内訳																					
			農業・林業 漁業・鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水 道業	情報通信業	運輸業・ 郵便業	卸売・小売業	金融業・ 保険業	不動産業・ 物品賃貸業	学術研究専門・ 技術サービス業	宿泊業、 飲食サービス業	生活関連サー ビス業、娯楽業	教育、学習支援業 (内、教員数)	医療、福祉	複合サービス事 業	サービス業	公務	その他				
学部	人文学部	文化学科	98(79)	85(67)	( )	6(5)	11(9)	( )	9(9)	3(3)	6(6)	5(4)	1(1)	6(3)	2(1)	3(3)	7(5)	3(2)	2(1)	1(1)	22(16)	( )		
		法律経済学科	191(88)	179(85)	( )	7(3)	30(15)	2( )	30(19)	6(4)	10(4)	14(7)	4(1)	14(5)	1(1)	3(1)	3(2)	( )	6(1)	1(1)	3(1)	45(20)	( )	
		計	289(167)	264(152)	( )	13(8)	41(24)	2( )	39(28)	9(7)	16(10)	19(11)	5(2)	20(8)	3(2)	6(4)	10(7)	3(2)	8(2)	2(1)	4(2)	67(36)	( )	
	教育学部	学校教育教員養成課程	206(127)	185(116)	1(1)	2(2)	5(5)	( )	4(3)	2(2)	8(8)	2( )	( )	( )	( )	4(2)	2(1)	116(62)	109(59)	5(4)	2(1)	4(4)	28(21)	( )
		情報教育課程	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		生涯教育課程	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		人間発達科学課程	4(3)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	計	210(130)	185(116)	1(1)	2(2)	5(5)	( )	4(3)	2(2)	8(8)	2( )	( )	( )	( )	4(2)	2(1)	116(62)	109(59)	5(4)	2(1)	4(4)	28(21)	( )	
	医学部	医学学科	129(40)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		看護学科	77(73)	74(70)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	70(68)	( )	( )	4(2)	( )
	計	206(113)	74(70)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	70(68)	( )	( )	4(2)	( )	( )
	工学部	機械工学科	91(10)	33(3)	( )	1( )	26(3)	( )	1( )	1( )	( )	( )	( )	3( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1( )	( )	( )
		電気電子工学科	96(3)	43(2)	( )	4( )	26(1)	( )	5(1)	2( )	1( )	( )	( )	5( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		分子素材工学科	94(26)	28(16)	( )	( )	22(15)	( )	1( )	1(1)	( )	( )	( )	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1( )	2( )	( )
		建築学科	56(20)	39(11)	( )	25(5)	2(1)	( )	2(1)	( )	( )	( )	1(1)	6(2)	( )	( )	1(1)	( )	( )	( )	( )	( )	2( )	( )
		情報工学科	52(6)	36(5)	( )	2(1)	13(3)	( )	15(1)	( )	( )	( )	( )	4( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	2( )	( )
		物理工学科	42(1)	24(1)	( )	( )	16( )	2(1)	1( )	( )	( )	( )	( )	3( )	( )	( )	( )	( )	( )	1( )	( )	( )	1( )	( )
	計	203(66)	203(38)	( )	32(6)	105(23)	2(1)	25(3)	4(1)	1( )	( )	1(1)	22(2)	( )	( )	1(1)	( )	1( )	( )	3( )	6( )	( )	( )	( )
	生物資源学部	資源循環学科	74(38)	58(31)	3(3)	2(2)	15(4)	1(1)	8(7)	( )	5(3)	( )	2(2)	2( )	( )	( )	3(1)	1( )	1( )	2(2)	1( )	13(6)	( )	( )
共生環境学科		73(24)	54(19)	1( )	1( )	20(7)	1(1)	1( )	1( )	3(2)	2( )	( )	3(1)	( )	2(2)	1( )	1( )	( )	( )	1( )	17(5)	( )	( )	
生物圏生命科学科		103(46)	66(34)	( )	( )	37(22)	1( )	3(3)	2(1)	5(2)	( )	( )	3(1)	1(1)	( )	2( )	( )	( )	( )	1( )	11(4)	( )	( )	
計		250(108)	178(84)	4(4)	3(2)	72(33)	3(2)	12(10)	3(1)	13(7)	2( )	2(2)	8(2)	1(1)	2(2)	6(1)	2( )	1( )	2(2)	3( )	41(15)	( )	( )	
合計	1,386(584)	904(480)	5(5)	50(18)	223(85)	7(3)	80(44)	18(11)	38(25)	23(11)	8(5)	50(12)	8(5)	10(7)	133(71)	114(61)	85(74)	6(4)	14(6)	146(74)	( )	( )		
大学院	人文社会科学部	地域文化論専攻	3( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
		社会科学専攻	9(6)	4(1)	( )	( )	1(1)	( )	2( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1( )	( )	( )	( )
		計	12(6)	4(1)	( )	( )	1(1)	( )	2( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1( )	( )	( )	( )
	教育学研究科	教育学専攻	29(10)	25(8)	( )	( )	1( )	( )	1(1)	( )	( )	( )	( )	( )	19(6)	18(5)	2(1)	( )	( )	( )	1( )	1( )	1( )	( )
		教職実践高度化専攻	16(5)	16(5)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	16(5)	16(5)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		計	45(15)	41(13)	( )	( )	1( )	( )	1(1)	( )	( )	( )	( )	( )	35(11)	34(10)	2(1)	( )	( )	( )	1( )	1( )	1( )	( )
	医学系研究科	医学専攻(修士課程)	6(3)	3( )	( )	( )	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1( )	1( )	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		看護専攻(修士課程)	2(2)	2(2)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	2(2)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		看護学専攻(博士課程前期)	6(5)	5(5)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1(1)	( )	4(4)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		看護学専攻(博士課程後期)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		生命医学専攻(博士課程)	40(8)	34(6)	( )	( )	2(1)	( )	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	5(3)	5(3)	26(2)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		計	54(18)	44(13)	( )	( )	3(1)	( )	1(8)	( )	( )	( )	( )	( )	7(4)	6(3)	33(8)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	工学研究科	機械工学専攻	55( )	54( )	( )	1( )	44( )	( )	( )	4( )	( )	( )	( )	3( )	( )	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	1( )	( )	( )
		電気電子工学専攻	42( )	41( )	( )	1( )	32( )	( )	2( )	( )	1( )	1( )	( )	3( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1( )	( )	( )
		分子素材工学専攻	58(10)	57(10)	( )	( )	53(9)	1( )	( )	( )	1( )	( )	( )	2(1)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		建築学専攻	14(5)	12(4)	( )	7(2)	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	3(1)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1(1)	( )	( )
		情報工学専攻	22(2)	21(2)	1( )	( )	9(1)	( )	9(1)	( )	1( )	( )	( )	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		物理工学専攻	19(1)	18( )	( )	( )	15( )	( )	1( )	( )	1( )	( )	( )	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		計(博士前期)	210(18)	203(16)	1( )	9(2)	154(10)	1( )	12(1)	4( )	4( )	1( )	( )	19(2)	( )	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	2( )	1(1)	( )
	材料科学専攻	材料科学専攻	4(2)	4(2)	( )	( )	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	2(1)	1( )	1(1)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
システム工学専攻		6(1)	4( )	( )	2( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	2( )	2( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
計(博士後期)		10(3)	8(2)	( )	2( )	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	4(1)	3( )	1(1)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
生物資源学専攻	資源循環学専攻	16(7)	10(2)	( )	( )	6(2)	( )	( )	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1( )	2( )	( )	
	共生環境学専攻	25(4)	21(4)	( )	( )	12(2)	1( )	2( )	( )	1(1)	( )	2( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1(1)	2( )	( )	
	生物圏生命科学専攻	32(7)	22(5)	( )	( )	12(1)	( )	( )	1( )	( )	1( )	5(2)	( )	1(1)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	2(1)	( )	( )	
	計(博士前期)	73(18)	53(11)	( )	( )	30(5)	1( )	2( )	1( )	2(1)	( )	1( )	7(2)	( )	1(1)	( )	( )	( )	( )	( )	2(1)	6(1)	( )	
	資源循環学専攻	6(3)	2( )	( )	( )	( )	( )	( )	1( )	( )	( )	( )	( )	1( )	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	共生環境学専攻	7(1)	6(1)	( )	( )	1(1)	( )	( )	( )	( )	( )	3( )	( )	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1( )	( )	( )	
生物圏生命科学専攻	5(1)	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
計(博士後期)	18(5)	9(1)	( )	( )	1(1)	( )	( )	1( )	( )	( )	4( )	( )	2( )	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	1( )	( )	( )		
地域イノベーション学専攻	地域イノベーション学専攻(博士前期)	9(2)	9(2)	1( )	( )	6(2)	( )	1( )	( )	( )	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	計	9(2)	9(2)	1( )	( )	6(2)	( )	1( )	( )	( )	1( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	地域イノベーション学専攻(博士後期)	5(2)	4(1)	( )	( )	1(1)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	3( )	3( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
計	5(2)	4(1)	( )	( )	1(1)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	3( )	3( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
合計	436(87)	375(60)	2( )	11(2)	198(21)	2( )	19(2)	5( )	7(1)	1( )	2( )	24(4)	( )	2(1)	51(16)	47(13)	36(10)	( )	( )	5(1)	9(2)	1( )		

(注) 博士課程、博士後期課程の修了者については、単位取得満期退学者を含む。

( )内は、女子学生数を内数で示す。



# SA(スチューデント・アシスタント)

## SA(スチューデント・アシスタント)の 取り組みをふりかえって

### － SAとして活躍する先輩から学ぶ －

SA(Student Assistant)の取り組みとは、キャリア・ピアサポーター上級資格を取得した学生を活用する学生支援施策である。本学では、仲間が仲間を支援するというこの相互支援の取り組みの本質は、“大学という一つの社会の中で様々な体験をすることは自身のキャリア(生き方)に寄与する”という観点から「キャリア・ピアサポーター」と呼称し、学生個々人のその人らしさを活かした、ピア(仲間)を支援することを推進している。キャリア・ピアサポーターには、初級資格と上級資格が設けられている。学生が支援に関連する様々な知識・技能・態度を高めることのできる講義・演習を一定数受講することで、これらの資格を取得できるという資格教育プログラムが設置されている。

キャリア・ピアサポーター上級資格を取得するまでに、学生は、他者に対する学生支援(ファシリテーション)を実践的に学ぶ講義・演習科目(学習支援実践)や、他者に対する心理的支援を実践的に学ぶ講義・演習科目(こころのサポート)を必修科目として、単位取得しなくてはならない。SAとなる学生の力量を保証するため、他者への配慮や支援方法などについて学ぶことになっている。SAとして、ただの授業準備や配布物の配布補助ではなく、受講生のグループディスカッションへの参加を促すファシリテーションや、受講生の学びをより深めるための支援が望まれている。本学では、教職員ではなく、学生同士、先輩だからこそできる学習支援、学生支援を目指しているのである。

学習支援実践という授業科目は、他者に対する学習支援実践を学びながら、先輩SAの学習支援やサポートを受けるといった構造になっている。先輩SAからの学習支援やサポートを受けながらも、その支援の方法や内容等をモデルとして学ぶことができるのである。学習支援実践を受けた学生たちに、「この授業で何を学び、SAとなったときにどう生かすか」聞いたところ、先輩SAからの具体的な学習支援やサポートを例に挙げながら、「答えを本人から導くことができるように、一人ひとりの個性を見る、見つけることが大事だと思った」、「学生のグループ活動への接し方と、個々の学生への接し方のバランスを学んだ」、「学習者がどれくらい理解しているかを把握したうえで、話し合いが詰まったとき等にタイミングよく必要なサポートをくれた」、「SA自身が親しみやすく、前向きな姿勢で取り組んでいて、雰囲気をつくってくれた」等が挙げられた。想像していた以上に、先輩SAをモデルに学習していることがうかがわれた。

2019年度は、学内の先生方のご理解のもと14科目でSA総数19名を活用した授業が行われた。SAを活用することによる授業の受講生への効果、さらにはSA自身への効果を先生方が感じてくださっていることを願いたい。

● Table1 2019年度SA採用者及びSA活用授業

期間	授業名	学部	学年	人数
前期	ピアサポート実践	教育	4年	1名
	学習支援実践	人文	3年	1名
	キャリアプランニング入門	教育	4年	1名
	インターンシップ入門	人文	4年	1名
	こころのサポート	人文	3年	1名
後期	留学生支援実践	人文・教育	2・3年	2名
	障がい学生支援実践	人文・教育	2・4年	2名
	ピアサポート実践	人文・教育	2・4年	2名
	学生生活支援実践	人文	2・4年	2名
	広報誌編集実践	教育	2年	1名
	キャリアプランニング入門	人文	4年	1名
	アントレプレナー論	人文	2年	1名
	こころのサポート	人文	2・4年	2名
	こころのサポート	人文	4年	1名
				合計 19名

これからの人生に役立つスキル、  
身につけてみませんか——!!

キャリア・2019年度  
入学者用  
ピアサポーター  
資格取得ガイド

キャリア科目の  
単位取得で  
資格が取れる!

学部・学年をこえる  
仲間と出会い、  
高め合える!

自ら行動する  
力が身につく!



©三重大学の学生支援オリジナルマスコットキャラクター  
「三重大サポ大」

## 資格事前申請書

氏名： \_\_\_\_\_

学籍番号： \_\_\_\_\_

電話番号： (     )     -     \_\_\_\_\_

資格申請の為に、私の成績及び単位取得状況について確認されることに同意します。

※同意の場合、チェック☑をお願いします

資格取得条件を満たした際に、左記の電話番号または学生メールにご連絡し、資格の認定をさせていただきます。

キャリア支援センター(就職支援チーム)

# 1 キャリア科目を選ぼう!

※必修科目や選択科目については毎年変更がある場合がございますので、履修案内にてご確認ください。いずれの年度に習得した単位であっても認定されます。

## 初級資格必修科目

- スタートアップセミナー
- キャリアプランニング入門

## 上級資格必修科目

- 学習支援実践
- こころのサポート



初級

上級

## 【選択科目チェック☑リスト】

- |                          |                          |                      |
|--------------------------|--------------------------|----------------------|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 留学生支援実践(国際理解実践S)     |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 障がい学生支援実践(現代社会理解実践S) |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ピアサポート実践             |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 学生生活支援実践             |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 広報誌編集実践              |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | キャリアイベント実践           |

初級資格は  
必修・選択合わせて  
3科目!



上級資格は  
必修・選択合わせて  
4科目!

- インターンシップ入門  
※前期に開講されますが、後期に単位認定されるため、資格認定は後期以降となります。
- アントレプレナー論(日本理解特殊講義S)
- 地域と仕事(日本理解特殊講義S)
- 企業研究入門
- キャリア形成論

### 注意!

黄色の枠の科目については、初級・上級とどちらかの資格申請時のみ有効です。



## 2 キャリア・ピアサポーター 資格教育プログラムを受けよう!

こんなことに  
チャレンジできます!

- ★大学生生活についての相談活動
- ★学生同士の交流や大学活性化、  
キャリア支援を目的としたイベント企画実施
- ★修学支援活動の企画実施
- ★学内機関や学生団体とのコラボレーション

Special Step!

SA  
(Student Assistant)

こんなことに  
チャレンジできます!

- ★実戦形式の各キャリア科目において、  
教員の授業補助や、受講している学生の  
サポート業務を担当できる!

グループ活動をどうやって  
進めていけばよいかを学べ、  
就職してから役立つ力が養える!

Step up!

上級資格取得者

Step up!

初級資格取得者

Start!

全学生

認定された方に  
資格認定証を授与!

資格認定者の発表は、前期末申請については  
10月上旬、後期末申請については  
次年度4月上旬を予定しています。

## 3 履修スケジュールを確認しよう!

(例)

1年前期

- ◆ スタートアップセミナー
- ◆ キャリアプランニング入門
- ◆ ピアサポート実践

Advice

前期末に初級資格申請を  
したいから、前期に  
実践科目を履修しよう。

初級資格認定!

1年後期

- ◆ こころのサポート
- ◆ 留学生支援実践
- ◆ 広報誌編集実践

Advice

上級資格に必要な選択  
科目の単位を1年後期に  
取ってしまおう。

2年前期

- ◆ 学習支援実践

Advice

2年前期に、上級資格の  
必修科目の学習支援実践を  
履修しよう。

上級資格  
認定!

2年後期から  
SAに!

## 資格取得を通して社会人としての 「実践力」を身につけよう!

大学までの勉強では知識の獲得が最も重視されますが、実際に社会に出てみれば、

知識量だけでなく、獲得した**知識に基づいた実践のための応用力が求められる**ようになります。

しかしながら、こうした能力を身につけるためには、ただ漫然と授業を受けるだけではなく、

学生時代に様々な取り組みに主体的に参加することで、経験を通して積み重ねていかなければなりません。

三重大学では、「生きる力」の養成や自身のキャリア形成につながる様々な授業科目を用意しています。

また、所定の科目を履修した学生に対しては、「**キャリア・ピアサポーター初級資格**」、

および「**キャリア・ピアサポーター上級資格**」を認定します。

「キャリア・ピアサポーター」資格を取得した学生は、授業補助等で教員のサポート役を担う

「SA(Student Assistant)」をはじめ、学生が同じ学生を横の関係で支援する「なんでも相談活動」や、

各種修学(授業)支援、アカデミックフェアやキャリアイベントといった各種イベント企画など、三重大学の活性化にも

つながる様々な活動に参加してもらうことで、その力を発揮することができます。さらには、こうして学内の様々な

現場を「職場」として体験することを通して、就職活動に不可欠な“対人関係能力”や“コミュニケーション能力”といった

能力を身につけていくこともできるでしょう。

あなたも、「キャリア・ピアサポーター」資格を取得して、一緒に三重大学を盛り上げていきませんか。

そして、**あなた自身の「実践力」を伸ばして**いきませんか。

就職支援チームは  
保健管理センターの  
近くだよ!



 MIE UNIVERSITY

三重大学 学生総合支援センター

【お問い合わせ先】

キャリア支援センター(就職支援チーム)  
(総合研究棟Ⅱ 1階 開室時間:平日 8:30~17:15)

TEL 059-231-5372

E-Mail: syusyoku-in@ab.mie-u.ac.jp

<http://www.mie-u.ac.jp/life/peer/license.html>

HPはこちら!



# Ⅶ 学生総合支援センター主催行事

## 学生総合支援センター主催行事① 学生支援サミット2019

### 趣旨

年に一度、三重大大学の学生・教員・職員がともに大学をより良いものとして行くために協働して議論を行う機会として開催しています。本年度は、サブタイトルに「三重大大学を駆け抜けて「自分」をつくるために」を掲げ、社会で活躍する人材になるための自分のつくり方やそのプロセスについて検討するためにサミットを開催しました。

### テーマ・内容

『社会で活躍する三重大生のキャリア発達』を今年度のテーマとし、まずは大学生という発達段階及び発達課題、三重大生を取り巻く環境(授業や課外活動、人間関係、教育目標「4つの力」)、今後のキャリア教育等について理解した上で、在学中・卒業後に社会の中で活躍できる「自分」をつくるために必要な環境やイベント、それらからどういう「自分」がつくり上げられるか等をまとめたプロセスをモデル化しました。グループでまとめたモデルは順番にプレゼンテーションを行い、参加者全体での吟味を行いました。

### 日時・場所

日時：2019年7月3日(水) 13:30～16:00

場所：三重大大学講堂 小ホール

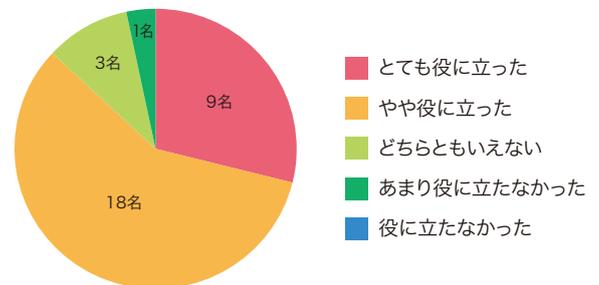
### 当日の参加状況

学生支援サミット当日の参加者数は、学生52名、教員19名、職員19名の計90名でした。

### アンケート結果：キャリア発達や将来を考える上で、どの程度役に立ったか

「学生支援サミット2019は、あなたのキャリア発達や将来を考える上で、どの程度役に立ちましたか?」との質問に対して、「とても役に立った」と回答した者は9名(29.0%)、「やや役に立った」と回答した者は18名(58.1%)、「どちらともいえない」と回答した者は3名(9.7%)、「あまり役に立たなかった」と回答した者は1名(3.2%)だった。

キャリア発達や将来を考える上で、どの程度役に立ったか



### 各グループのアイデア

#### グループ①：人文学部グループ

大学入学以降、様々なイベントを通して能力をステップアップ的に育てていき、最終的にコミュニケーション能力や行動力のある人材へと発達していくモデル。その過程で、大学にはコミュニケーション能力等を養える講義の提供や充実した留学制度、交流イベント等の提供をしてもらいたい。



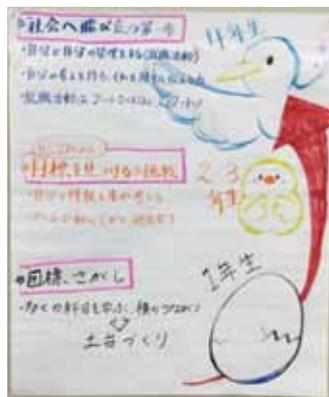
#### グループ②：人文学部グループ

大学生活における様々な環境(講義や学内外での活動)での学びや経験を通して、社会で活躍するための能力としての継続力や協調性、主体性、人間性、公共性を身につけるプロセスを木のなる木で表現したモデル。大学には、学生が(潜在)能力を身につけられるような授業やイベントの提供をしてもらいたい。



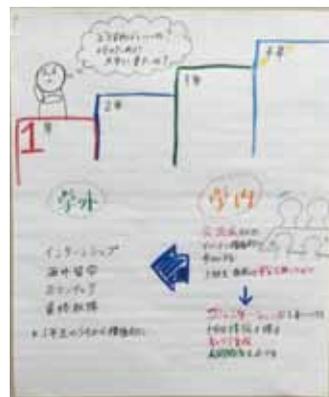
グループ③：人文学部グループ

目標さがしの1年生、目標を見つけて挑戦する時期の2・3年生、社会で活躍するために必要な能力を身につけ、社会へ飛び立つ第一歩目の時期にあたる4年生を経て、社会に出ていくというプロセスを飛び立つ鳥の成長で表現したモデル。大学には、学生が将来に向けての目標の探索・選択に対するサポートをしてもらいたい。



グループ④：人文学部グループ

自分の将来や大学での目的を見つけるために、学内での交流イベント等への参加を通してコミュニケーション能力や情報収集、人とのつながりを作り、続いて学外でのインターンシップや留学、ボランティア等に積極的に参加していくというプロセスをモデル化したもの。大学には、コミュニケーション能力や情報収集のための交流の機会を作ってもらいたい。



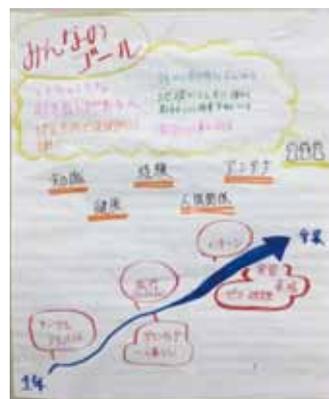
グループ⑤：専門職養成学部(教育学部+医学部)グループ

あらかじめ進路が決まっている現状と比較する形での理想をモデル化したもの。「これしかない」という進路への考えを変えることが大事であるとし、総合大学であることを活かしながら、1年生で基礎知識の習得や進路について考え、2年生で学科選択できる制度ができれば、学生個人にあった進路に進むことができる。



グループ⑥：専門職養成学部(教育学部+医学部)グループ

学生一人ひとりが描くゴール(目標)やその達成のために必要な要素(知識や経験、健康、人間関係、アンテナ)が、大学生活の様々なイベントを通して形成されるというモデル。大学には、将来に向けてどんな選択肢があるかを知る機会を提供してもらいたい。



グループ⑦：理系学部(工学部+生物資源学部)グループ

アルバイトやサークル活動、社会と関わる機会となるインターンシップをスポンジ、ボランティアやディベート、進路についての学内イベントへの参加やその中で得たものを中身のイチゴ、その上に主体性としてのイチゴが乗る形で、社会で活躍できる人材を表現したモデル。大学には、重要となる主体性を育むイベントの開催をしてもらいたい。



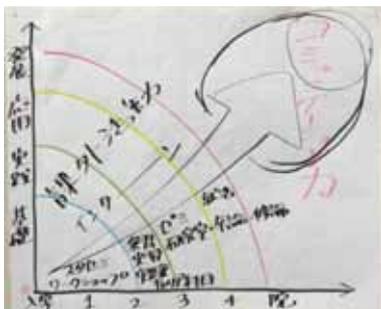
グループ⑧：ピアサポーターグループ

大学生活を通じた様々なものの中から好きな事を見つけ、好きな事を通して将来に役立つ能力や資源を充実させていくというプロセスを木で表現したモデル。成長・実現を遂げると実が落ち、それが新たな環境作りのための栄養となるというサイクルも表現している。



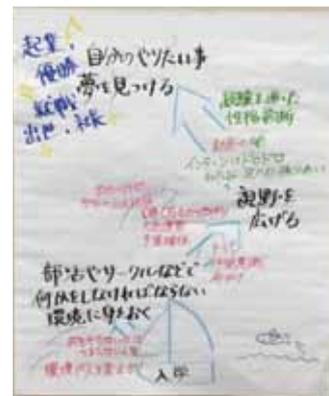
### グループ⑨：課外活動グループ

IT化が進む中で、人間しかできないこととしてコミュニケーション力を挙げ、それを発達させるプロセスをモデル化した。基礎・実践・応用・発展の4つのレベルに分けられる学内の活動、そして能力を伸ばす機会としてのインターンシップを通してコミュニケーション力を発達させていく。キャリア教育は、個人が何を伸ばすか、何を選択するかを学ぶ機会である。大学には、コミュニケーション能力の育成の焦点化した授業を行うことで、色んな人と関わる機会を作ってもらいたい。



### グループ⑩：課外活動グループ

環境が人を変えるという考えのもと、入学してから部活・サークル等の何かをしなければならぬ環境に身を置くことを提案。そこで人間関係のつながりや運営活動を行うことで様々な能力を身につけたり視野を広げることができる。それらを踏まえた上でインターンシップ等に参加し、将来に向けた様々な学びを得ることができ、延いては自分のやりたいことや夢を見つけて社会で活躍することができる。それらのプロセスをモデル化したもの。大学には、課外活動と正課活動が両立できるような雰囲気作りをしてもらいたい。



## 学生支援サミット2019

### ～三重大大学を駆け抜けて「自分」をつくるために～を開催しました

2019年7月8日

7月3日(水)、三重大大学講堂 小ホールにおいて、「学生支援サミット2019～三重大大学を駆け抜けて『自分』をつくるために～」を開催しました。

本サミットは、学生・教員・職員が協働しながらディスカッションを行い、より良い三重大大学となるよう考えていく貴重な機会として、学生総合支援センター主催で毎年開催されているイベントです。本年度は「社会で活躍する三重大生のキャリア発達」をテーマに、学生・教職員合わせて約90名が参加し、学生総合支援センター 風間惇希講師の進行のもとサミットが行われました。



冒頭、駒田美弘学長から「キャリア発達についての話し合いで、今後より三重大学生の活躍が増えることを期待しています。」と開会の挨拶がありました。





また、風間講師より学生支援サミットの概要説明と今回のテーマである「社会で活躍する三重大生のキャリア発達」についての説明がありました。

続いて、学生・教職員を交えた10グループに分かれて、キャリアパスモデルについてワークショップが行われました。自分たちがなりたい姿＝キャリアについて、参加者それぞれが意見を交わし、そのためには大学生活で何が必要か、話し合いが行われました。



会場内ではカフェサークル「Le Lien」のコーヒー・紅茶も振舞われ、和気あいあいとした雰囲気の中で、実体験なども加えた活発な話し合いが行われている様子でした。



その後、キャリア発達について各グループの意見と大学に求めることについて、木の絵や鳥が卵から成長していく図などを用いて、それぞれ個性溢れるポスター発表が行われました。「社会に出た際に必要なコミュニケーション能力や経験を積むために、大学での縦のつながりを形成する機会やグループワークなどの機会を設けてほしい。」「社会で活躍するために学部学科に関係なく多様な授業を受講できるようになってほしい。」などキャリア形成に向けて、大学に求めるさまざまな意見が発表されました。



発表後には参加者投票により、「ベストグループ」が選ばれ、表彰が行われました。



最後に野崎哲哉副学長(学生総合支援担当)から「三重大学生のみなさんには、社会の著しい変化の中でも活躍できる力をつけていただきたいので、在学中にさまざまなことにチャレンジができる機会を学生のみなさんと一緒に考えていきたい」と閉会の挨拶がありました。

今後の進展が期待される有意義なサミットとなりました。

## 学生総合支援センター主催行事② 三重大学アカデミックフェア2019

### 趣旨

三重大学の学生の学習や研究の成果、地域や高大連携、課外活動、支援活動等の実践について、三重大学関係者をはじめ、市民に対して広く紹介する機会とすることを目的として年に一度開催しています。

### 日時・場所

日時：2019年11月1日(金)13:30～16:00

場所：三重大学講堂(小ホール・ホワイエ)

### 当日の参加状況

学生支援サミット当日の参加者数は、学生115名、教員45名、職員15名の計177名でした。

### 内容

#### ① 特別企画シンポジウム「社会に貢献する三重大生の知」

社会への貢献が期待される研究を行う各学部の代表学生が、自身の研究内容を紹介するとともに、大学での学修・研究をどのように社会に還元していくか、またそのための大学生活の過ごし方や学修・研究に取り組む上で大事にしていること等について発表、ディスカッションを行いました。

各学部・研究科の発表者は以下の通りです。

- ・伊藤良美(人文学部法律経済学科4年)『高齢化社会の日本におけるMaaS社会の実現に向けて』
- ・吉川大貴(教育学研究科教育科学専攻M1)『ものとの関わりを学ぶカリキュラムの提案』
- ・山本大貴(医学部医学科5年)『川崎病の病態におけるTenascin-Cの機能解析』
- ・内山貴文(工学研究科物理工学専攻M1)『Androidアプリによる色相騒音計の実現とその活用提案』
- ・山本慧史(生物資源学研究科資源循環学専攻D3)『Ghent大学Artemia Reference Centerでの研究留学から得られた学びや気づきについて』

#### ② ポスター発表&ディスカッション

人文学部8件、教育学部・教育学研究科10件、医学部・医学系研究科8件、工学研究科8件、生物資源学部・生物資源学研究科8件、教養教育5件、支援活動2件、課外活動2件の計51件によるポスター発表及びディスカッションを行いました。

## 三重大学アカデミックフェア2019発表一覧

No.	氏名	所属	学年	タイトル
<b>口頭発表(特別企画シンポジウム)</b>				
S-1	伊藤良美	人文学部法律経済学科	4年	高齢化社会の日本に置けるMaaS社会の実現に向けて
S-2	吉川大貴	教育学研究科教育科学専攻	修士1年	ものとの関わりを学ぶカリキュラムの提案
S-3	山本大貴	医学部医学科	5年	川崎病の病態におけるTenascin-Cの機能解析
S-4	内山貴文	工学研究科物理工学専攻	修士1年	Androidアプリによる色相騒音計の実現とその活用提案
S-5	山本慧史	生物資源学研究科生物圏生命科学専攻	修士3年	Ghent大学Artemia Reference Centerでの研究留学から得られた学びや気づきについて
<b>ポスター発表</b>				
P-1	伊藤健太 他5名	人文学部法律経済学科	3年	消費者インサイトをを用いたマーケティング—消費者インサイトの現状とこれからの発展に向けて—
P-2	上野真子 他2名	人文学部法律経済学科	3年	企業の力を活かした地域活性化—三重県津市美杉町の実例から—
P-3	松並亮介 他3名	人文学部法律経済学科	3年	CSR活動を通じた持続可能な経営～人材の観点から～
P-4	平尾厚子・澤井秀治	人文学部法律経済学科	3年	伊藤によるデサントに対する敵対的TBO
P-5	加藤杏弥 他3名	人文学部法律経済学科	3年	深刻化する米中貿易戦争～貿易のあるべき姿～
P-6	青木陽香 他2名	人文学部法律経済学科	3年	TPP RCEPから見る日本の貿易
P-7	平賀美羽 他2名	人文学部法律経済学科	3年	拡大する労働者層の貧富の格差
P-8	吉田真穂 他3名	人文学部法律経済学科	3年	地域経済活性化のための地域金融機関の役割

No.	氏名	所属	学年	タイトル
P-9	吉川大貴 他2名	教育学研究科教育科学専攻	修士1年	小学校生活科に置くSTEAM教育の実践
P-10	伊藤あかり 他7名	教育学部	3年	世界遺産の熊野古道を歩こう!
P-11	赤坂珠子	教育学研究科教職実践高度化専攻	修士2年	一人ひとりの子が探究を実現するための「しかけ」の研究
P-12	黒田健太郎	教育学研究科教職実践高度化専攻	修士2年	構成主義にもとづく授業実践と学習者の自己評価に関する研究～往還型自己評価シートを活用して～
P-13	山際大雅 他2名	教育学部	2年	オークランド大学教育学部に置く海外教育研修
P-14	長井拓海 他9名	教育学部	4年	未就園児の会での活動～地域の親子と繋がる場～
P-15	上田仁・松浦均	教育学研究科教育科学専攻	修士2年	人は所属する集団内のメンバーと助け合えると認識しているのか～集団内成員間での互恵性認知と数理モデルの検討～
P-16	中村日海里	教育学研究科教育科学専攻	修士2年	説明概念としての「発達障害」とどのように学習されたか～インターネット上に観察される「行動」の共起語に着目した探索的検討～
P-17	増田直史	教育学研究科教育科学専攻	修士2年	社会的有用性を高める小学校社会科まちづくり学習の授業実践提案～地域協働型社会参加を視点として～
P-18	西井亮太郎 他6名	教育学研究科教育科学専攻	修士2年	小学生のコミュニケーション能力育成のための心理学を基盤とした取り組み～わくわくコミュニケーションクラブでの実践報告～
P-19	安達優華	医学系研究科	修士1年	口唇口蓋裂の新規メカニズム探索
P-20	LUCLA EMIKO TSUGIYAMA 他3名	医学系研究科	博士4年	自閉症における聴覚過敏のメカニズム
P-21	西浦百香	医学部看護学科	4年	日本における糖尿病患者のセルフコントロールの看護～ドイツ研修を経て再認識した学び～
P-22	田中椰々・竹内佐智恵	医学部看護学科	3年	日本とタイにおける安楽死と尊厳死のとらえ方からの学び
P-23	三浦巨揮	医学系研究科	2年	C3orf70は神経発達に関与する
P-24	尹成増 他3名	医学系研究科	博士3年	Rac GTPase-Activating Protin 1 (RACGAP1) as an Oncogenic Enhancer in Esophageal Carcinoma
P-25	北村あやめ	医学系研究科	5年	新規がん抑制剤遺伝子HNRNPLLの胃癌組織発現パターン解析
P-26	新川龍太郎	医学系研究科	1年	有害事象自発報告データベースを用いた治療薬のクラスタリング
P-27	津村浩助	工学研究科機械工学専攻	修士1年	水平軸風車のスピナー周囲流れと上流風速との関係
P-28	森数大生 他6名	工学研究科機械工学専攻	修士1年	自動運転における障害物回避をめざして
P-29	清水一生 他4名	工学研究科情報工学専攻	修士1年	深層学習を用いたタンパク質のデザイン
P-30	大木充生	工学研究科建築学専攻	修士1年	潜熱蓄熱材を利用した太陽熱集熱器の集熱効率簡易予測
P-31	谷口駿	工学研究科電気電子工学専攻	修士1年	実行屈折率が変調可能なメタマテリアルに関する研究
P-32	下川真季	工学研究科電気電子工学専攻	修士1年	Tow-level node grouping for IEEE802.11ah RAW mechanism in IoT networks under non-uniform node distribution
P-33	植村健人	工学研究科分子素材工学専攻	修士1年	血圧下降作用を有する(一)-A58365Bの合成研究
P-34	中里紘也	工学研究科分子素材工学専攻	修士1年	コレステロール吸収阻害剤エゼチミブの合成研究
P-35	久米駿輔	生物資源学研究科資源循環学専攻	修士1年	セルロースナノファイバーを用いた四日市萬古焼の低炭素化
P-36	内藤陽介	生物資源学研究科資源循環学専攻	修士1年	三重大学オリジナル酒米品種「弓型穂」を活用した多気町地酒ブランド作りへの貢献
P-37	山川拳志郎	生物資源学研究科共生環境学専攻	修士1年	津市栗真町屋地区における耕作放棄地解消のための産学官連携プロジェクトの推進
P-38	江口翔馬	生物資源学研究科共生環境学専攻	修士2年	センサーデータはどう使う?～統計データの特徴量エンジニアリング～
P-39	松尾歩実 他3名	生物資源学部生物圏生命化学科	4年	未利用資源から作られた発酵茶葉の成分分析
P-40	二神知代	生物資源学部生物圏生命化学科	4年	水産加工機械および加工ラインの中間洗浄の効率化
P-41	丸山香野子・一色正	生物資源学研究科生物圏生命科学専攻	修士1年	ウイルス感染魚の鰓に特異的に出現する黒点の定量
P-42	榎津農子	生物資源学研究科生物圏生命科学専攻	博士1年	バンドウイルカのあくび様行動
P-43	吉村佳菜 他2名	学習支援実践受講生	2～3年	大学1,2年生に向けた就活支援冊子の作成
P-44	久保光 他2名	学習支援実践受講生	2年	逃走中in三重大学
P-45	豊西遥奈 他2名	学習支援実践受講生	2～3年	冊子作成「メールの書き方」
P-46	田中花 他3名	人文学部法律経済学科	1年	受講者が協力しあって自らつくる実践的授業～ピアサポート実践～
P-47	小橋健汰・山岡歩加	人文学部法律経済学科	1年	匂いが人間の記憶に与える影響
P-48	鈴木翔也	ピアサポーター学生委員会	3年	ピアサポーター学生委員会 今年度の活動について
P-49	守谷良輝	ACC学生委員会	3年	ACS学生委員会の活動報告
P-50	浦野未来・山下侑菜	動物保護支援サークル ドット	2年	野良犬をセラピードッグへ
P-51	坂本真治	三重創生ファンタジスタクラブ	2年	MSFCベイトによる地方創生について

- 人文学部・人文社会科学研究科
- 教育学部・教育学研究科
- 医学部・医学系研究科
- 工学部・工学研究科
- 生物資源学部・生物資源学研究科
- 教養教育
- 支援・課外活動

## 「三重大学アカデミックフェア2019」を開催しました

2019年2月19日

11月1日(金)、三重大学講堂の小ホール及びホワイエにおいて、「三重大学アカデミックフェア2019」を開催しました。アカデミックフェアは、三重大学の学生の学習や研究の成果、地域や高大連携、課外活動、支援活動等の実践について、三重大学関係者をはじめ、学内外の方々に対して広く紹介する機会として毎年開催しています。準備・運営には、ピアサポーター学生委員会の学生らがスタッフとして携わり、当日の司会進行も担当しました。今年度の司会はピアサポーター学生委員会の坂口 彩花さんと日中 俊介さんが務めました。

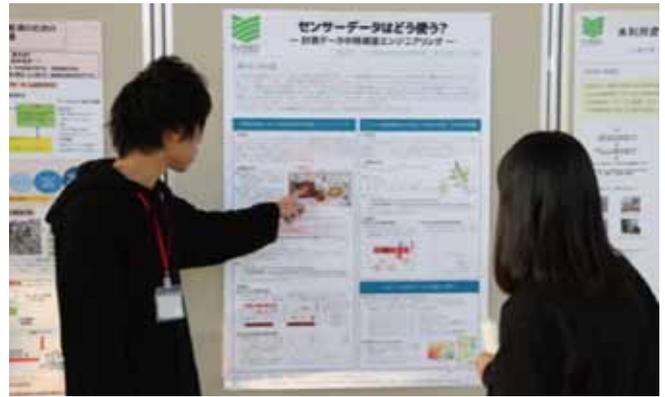


開会の挨拶として駒田 美弘学長から、「自分の発表内容が一番だと思って発表してほしい。ベストワン、オンリーワン、ナンバーワンであると自信をもってプレゼンテーションを行ってほしい。」との激励の言葉が贈られました。



特別企画シンポジウム「社会に貢献する三重大生の知」では、各学部・研究科の代表の学生が、それぞれの研究内容の紹介や、これまでの学びの経緯、社会に貢献・還元される研究や学習を目指すうえで大事なことについての発表を行いました。5名の代表学生の発表の後には、参加者からの質疑応答があり、活発なディスカッションが行われました。





ポスター発表終了後には全体会が開かれ、山本 俊彦教育担当理事から、優秀発表者に対して、表彰状と副賞の贈呈が行われました。



最後に、山本理事から「一人一人が興味を持っていること、好きなことに夢中になって欲しい。知の探究の出発点は好奇心からなので、自分の追求していききたいことをハングリー精神で追い求めていって欲しい。」との閉会の挨拶をいただきました。





三重大学学生総合支援センターホームページ  
<http://www.mie-u.ac.jp/life/>

国立大学法人 三重大学  
問い合わせ先／学生総合支援センター  
〒514-8507 津市栗真町屋町1577  
TEL:059-231-9679

三重大学life

click